令和2年度

# 第10回通常総会議案書

令和２年６月12日（金）

於：公益社団法人目黒法人会 ２階会議室

公益社団法人 目 黒 法 人 会

http://www.tohoren.or.jp/meguro/

公益社団法人　目 黒 法 人 会

# 第１０回 通常総会

# 次　　第

１．開　会　の　言　葉

２．会　　長　　挨　　拶

３．議　　長　　選　　出

４．議事録署名人選任

５．議　　　　事

【審議事項】

第１号議案　令和元年度 事業報告承認の件

第２号議案　令和元年度 収支決算報告承認の件

－　監査報告　－

【報告事項】

令和２年度事業計画書並びに収支予算書について

６．閉　会　の　言　葉

ページ索引


第１号議案　令和元年度事業報告書 …… 1P

第２号議案　令和元年度収支決算報告書 …… 16P

令和２年度　事業計画書 …… 24P

令和２年度　収支予算書 …… 38P

**第１号議案**

# 令和元年度　事業報告書

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

**（概　要）**

２０１９年５月１１日、３０年余り続いた「平成」に代わり、「令和」の時代の幕を開け、大きな社会問題となった煽り運転問題、大手芸能事務所の闇営業問題、アニメ制作会社の放火事件、台風による甚大な被害が発生するなど、明るい話題ばかりではなく、令和元年１０月に消費税が１０％に増税されたが、軽減税率の導入など複雑なしくみが人々を困惑させる場面も見受けられた。

一方で、日本で開催されたラクビーワールドカップは盛り上がり見せ、史上最強と言われる日本代表選手に全国各地が活気づけられ、経済は、雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、内需の柱である個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復が続いておりましたが、年度末の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に下押しされており、国難とも言うべき厳しい状況におかれ、回復を支えてきた内需のうち、個人消費はサービスを中心に、イベントの中止や自粛・外出控えにより、消費マインドの悪化も相まって停滞に陥り、設備投資は，感染症拡大以前から中国経済の減速の影響等により横ばい傾向となる中で、感染症の影響による業況の悪化、そして先が見えないという不確実性の大きさが企業の投資意欲を委縮させる要因となっています。

さらに、感染症拡大の収束が見通せず、先行きも、感染症による厳しい状況が続くと見込まれ、感染症が内外経済をさらに下押しするリスクに十分注意する必要があります。加えて、感染症の影響による２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の一年延長により、インバウンドを含め２０２０年度に発現が期待されていた需要が先送りされることに加え、マインド面への影響や関連イベント主催の地域等への影響が懸念されます。

こうした中で、アベノミクスの下で改善を続けてきた雇用・所得環境につては、２０１９年春季労使交渉では賃上げ率が昨年より幾分低下したものの、引き続き多くの企業がベースアップが実施されたが、２０２０年を迎え感染症の影響を強く受け、パート・アルバイト労働者の収入が減少、また、事業者は雇用調整助成金の活用等で何とか雇用維持を図ろうとしている一方、影響の大きい産業を中心に、求人の減少、派遣契約や採用内定の取消等の動きがあり、収束後の経済の力強い回復の実現に向け、事業活動の継続を強力に支援し、何としても雇用と生活を守り抜かなければなりません。

新型コロナウイルス感染症の拡大が収束し、国民の不安が払拭された後は、反転攻勢のフェーズとして、甚大な影響を受けた分野に重点的にターゲットを置き、国民に広く裨益する短期集中の思い切った支援策を講じ、官民を挙げた大規模なキャンペーンを展開することを通じて、国内の人の流れと街の賑わいを作り出すとともに、消費需要を大胆に喚起し、日本経済を再び確かな成長軌道へ一気呵成に回復させて、同時に、インバウンド復活への取組み、中小零細企業への経営支援等を通じ、地域経済の再活性化の機運を盛り上げていかなければなりません。

また、人々の心を癒し、明日への希望を与え、社会の基盤をなす文化芸術と、心身の健康につながり、夢や感動、勇気を与えるスポーツは、いずれも豊かで潤いのある生活に極めて重要であり、

各地で中止・延期等を余儀なくされた文化芸術・スポーツ活動に対する関心と熱意を盛り上げるべく、事業継続や生活維持に係る支援のほか、新型コロナウイルス感染症対策を含め活動再開に向けた十分な支援を行い、各地での多種多様な文化芸術、スポーツ等の機会の創出、１年後に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンへの支援策を講ずるとともに、当該地域の雇用の維持・確保等により、多方面から地域の活力を取り戻すことが必要と思われます。

当会は、法人会の基本的指針に則り、納税意識の向上、会員の研鑽、地域社会への貢献を図り、公益法人としての使命を達成するため、一体となって組織的な事業活動を展開いたしました。

さて、公益社団法人目黒法人会として１０年目を終えることができました。これもひとえに、会の趣旨にご賛同いただいた多くの会員各位の皆様、目黒税務署、東京都目黒都税事務所、目黒区並びに関係諸団体各位の格別なるご指導、ご支援の賜物であると感謝申し上げます。

目黒法人会は、各種事業等に多数の会員企業のご参加をいただくなかで、地域に密着した活動を通して、幅広く社会への貢献に積極的に取り組んでまいりました。今後とも、２，５００余社の会員のご結集をいただき、目黒法人会の目的実現のために一層の努力を傾けたいと思慮いたします。会員各位、目黒税務署、東京都目黒都税事務所、目黒区並びに関係諸団体各位のご協力に感謝いたしまして、令和元年度の事業報告と致します。

以下、その概要をご報告いたします。

## １　納税意識の向上と税知識の普及に資するための施策の推進

公益社団法人として、広く一般にも目を向け、納税意識の向上と税知識の普及に資するための税制関連の研修・セミナー・講演会等、特に、今年度は消費税増税に関する軽減税率制度等の説明会を数多く開催を含め、その充実を図るとともに、有益な資料を作成する等により会員及び一般に対する適切な広報を実施しました。

また、「税を考える週間」への協賛事業等を積極的に実施するとともに、e-Tax 及び eLTAX について、国税及び地方税当局並びに税務関連団体等とも連携しながら、電子申告の意義の重要性を訴え、役員企業１００％、会員企業７０％を目標に、会員のより一層の利用率向上に努めました。

税制等の調査・研究を行うために、会員に周知するとともに、「令和２年度税制改正要望事項」を検討、作成し、税制（使途問題を含む）に関する意見を集約し、その意見が税制に反映されるよう、関係機関に対し要望活動を展開しました。意見の集約にあたっては、国税とともに地方税に関する要望等についても会員ニーズの把握に努めました。

## ２　研修の充実と経営支援活動の推進

法人会の基幹事業である税法・税務関係研修・セミナーを始め、会員企業を取り巻く経営環境を踏まえ、かつ会員企業の実態に即した多岐に亘る研修・セミナー及び各種経営支援事業の体系的・連続的メニューを構築するなど、研修内容の充実を図りながら推進いたしました。加えて、「利益・資金管理セミナー」、「採用セミナー」、「自主点検チェックシート記入」、「補助金・助成金制度」、「事業承継」、「税なんでも相談」等についての研修会を適宜実施いたしました。なお、会員企業に加えて一般にも対象を広げ、一層公益性を高めるとともに、参加人員の増加にも努めました。一般でも視聴可能な「セミナー・オンデマンド」を導入し、インターネットでセミナー映像を配信しています。

## 3　組織の充実・強化

厳しい社会・経済情勢の下、会員数の減少傾向が続いている中で、組織の充実・強化を図るため、「税を知る仲間づくり研修会・交流会」等を開催し、会員の退会防止に努めながら、厚生制度受託会社とも連携し、会員勧奨月間を設け全会一丸となった組織的な会員勧奨を展開いたしました。

## 4　社会貢献活動の推進

公益社団法人として社会からの信頼を得て、地域に密着した活動を展開することが求められています。民間活力による社会への貢献が重要な課題であることを念頭におき、組織力を十分に生かし、地球温暖化対策や節電対策など環境分野の問題、地域教育機関等との連携のもと租税教育、目黒商工まつり、中目黒阿波踊り、目黒区民まつり、童謡保存コンサート、ウイ・ラブ・目黒清掃活動等を積極的かつ継続的に実施いたしました。

## 5　広報活動の推進

法人会の知名度の向上、会員及び一般への会活動の周知、目黒税務署、目黒都税事務所、目黒区の情報周知、会員勧奨のための広報活動として、ホームページや広報誌等の充実を図るとともに、マスコミにアピールするためのパブリシティ活動を実施し、特に公益的な事業については積極的なプレスリリースを行い、広く一般に対しての税の啓発活動等の推進に努めました。

## 6　福利厚生制度の拡充

企業の存続並びに企業価値を高めるとともに従業員の確保の上で、各種福利厚生制度の充実は不可欠であり、会の財政面における意義をも考慮し、制度の維持と普及拡充推進を図りました。

## 7　源泉部会・青年部会・女性部会活動の充実

源泉部会・青年部会・女性部会の活動を活発に展開し、部会のさらなる充実と部会員の研鑽を図るとともに、会活動の担い手として法人会活動の充実と活性化に資するための諸施策を積極的に展開いたしました。特に公益性の高い事業の実施に努め、未来を担う子どもたちへの租税教育、税に関する絵はがきコンクールや環境問題（$CO_2$削減問題・節電）、源泉税基礎・実務研修会等について、親会等との連携を図りながら、積極的に取り組みました。

## 8　支部活動の充実

支部の活動を活発に展開し、支部のさらなる充実と支部会員の研鑽を図るとともに、会活動の担い手の根幹として法人会活動の充実と活性化に資するための諸施策を積極的に展開いたしました。特に公益性の高い事業の実施に努め、税務研修会、医療関係セミナー、教養講座、ＩＴ勉強会、地域イベントとして未来を担う子どもたちへの租税教育や環境問題（$CO_2$削減問題・節電）について啓蒙等、親会等との連携を図りながら、積極的に取り組みました。

## 9　総務関係

時代に合った組織運営体制が常に望まれており、公益社団法人制度に適切に対応することを配慮しながら、諸規定・管理体制等所要の整備に着手いたしました。

また、ＩＴを活用した新たな会員サービス事業の拡充、効率的な事務運営のためのシステム整備を図る

とともに個人情報の管理の徹底を図りました。

## 10　関係外部機関との連絡協調

目黒税務署をはじめとした税務関係諸官庁及び税務関係諸団体との連絡協調は、税に関する事業を基本とする法人会にとって欠かすことのできない重要なテーマであり、より一層密にするよう努めました。

また、地域社会貢献活動の実施にあたっては、地方公共団体及び地域関係諸団体との協調に配慮いたしました。

## （事　業　内　容）

## Ⅰ　公益目的事業１・・・税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

（１）税知識の普及を目的とする事業

①新設法人説明会

（第一回）平成 31 年４月18 日（木）　13:30-16:00　　出席 23 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席、他

（第二回）令和元年　６月20 日（木）　13:30-16:00　　出席 22 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席、他

（第三回）令和元年　８月26 日（月）　13:30-16:00　　出席 18 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第四回）令和元年 10 月17 日（木）　13:30-16:00　　出席 35 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第五回）令和元年 12 月12 日（木）　13:30-16:00　　出席 23 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第六回）令和２年　２月12 日（水）　13:30-16:00　　出席 23 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

②決算法人説明会（消費税軽減税率制度説明会含む）

（第一回）平成 31 年４月19 日（金）　13:30-16:30　　出席 38 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席、他

（第二回）令和元年　５月17 日（金）　13:30-16:30　　出席 23 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席、他

（第三回）令和元年　６月21 日（金）　13:30-16:30　　出席 36 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席、他

（第四回）令和元年　７月２日（火）　13:30-16:30出席 29 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席、他

（第五回）令和元年　８月27 日（火）　13:30-16:30出席 24 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第六回）令和元年　９月９日（月）　　13:30-16:30　　出席 28 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第七回）令和元年 10 月18 日（金）　13:30-16:30　　出席 27 名　会場　目黒税務署
講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第八回）令和元年 11 月22 日（金）　13:30-16:30　　出席 15 名　会場　目黒税務署

講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第九回）令和元年 12 月13 日（金）　13:30-16:30　　出席 35 名　会場　目黒税務署

講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第十回）令和２年　１月16 日（木）　13:30-16:30　　出席 27 名　会場　目黒税務署

講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

（第十一回）令和２年2 月13 日（木）　13:30-16:30　　出席 23 名　会場　目黒税務署

講師　目黒税務署法人課税第一部門　小田審理上席、他

③年末調整等説明会

講　師　目黒税務署法人課税第二部門　榎本源泉審理上席他　13:30-16:00

会　場　めぐろパーシモン大ホール

（第一回）令和元年 11 月７日（木）　出席 290 名

（第二回）令和元年 11 月８日（金）　出席 280 名

④源泉部会年末調整等説明会

講　師　目黒税務署法人課税第二部門　榎本源泉審理上席他　13:30-16:00　会場　目黒税務署

令和元年 11 月６日（水）　　出席 29 名

⑤租税教室

租税教室講師及びアシスタント養成研修会

総合テーマ　１．租税教育の意義・目的について、２．租税教室の進め方

３．DVD 研修（①実際の租税教室の様子　②時間配分　③講師テクニック）

18:00-20:00　会場　目黒法人会館

（第一回）令和元年　９月19 日（木）　出席 21 名

（第二回）令和元年11 月18 日（月）　出席 15 名

（第三回）令和元年12 月20 日（金）　出席 12 名

（第四回）令和２年　１月16 日（木）　出席 15 名

（第五回）令和２年　２月　３日（月）　出席 13 名

租税教室

（第一回）令和元年　７月　16 日（火）　8:40~9:25　出席 29 名　会場　東山小学校

（第二回）令和元年　７月　16 日（火）　9:30~10:15　出席 28 名　会場　東山小学校

（第三回）令和元年　７月　16 日（火）10:35~11:20　出席 32 名　会場　東山小学校

（第四回）令和元年　７月　16 日（火）11:25~12:10　出席 31 名　会場　東山小学校

（第五回）令和２年　１月　23 日（木）　9:40~10:25　出席 34 名　会場　碑小学校

（第六回）令和２年　１月　23 日（木）10:45~11:30　出席 34 名　会場　碑小学校

（第七回）令和２年　１月　23 日（木）11:35~12:20　出席 34 名　会場　碑小学校

（第八回）令和２年　１月　24 日（金）10:35~11:20　出席 27 名　会場　八雲小学校

（第九回）令和２年　１月　24 日（金）11:25~12:10　出席 27 名　会場　八雲小学校

（第十回）令和２年　２月　12 日（水）10:45~11:30　出席 27 名　会場　油面小学校

（第十一回）令和２年２月　12 日（水）11:35~12:20　出席 27 名　会場　油面小学校

（第十二回）令和２年２月　15 日（土）　9:35~10:20　出席 38 名　会場　鷹番小学校

（第十三回）令和２年２月　15 日（土）10:40~11:25　出席 38 名　会場　鷹番小学校

（第十四回）令和２年２月 17 日（月）10:45~11:30　出席 33 名　会場　五本木小学校
（第十五回）令和２年２月 17 日（月）11:35~12:20　出席 35 名　会場　五本木小学校
（第十六回）令和２年２月 18 日（火）　9:20~10:00　出席 40 名　会場　中根小学校
（第十七回）令和２年２月 18 日（火）10:05~10:45　出席 40 名　会場　中根小学校
（第十八回）令和２年２月 20 日（木）　8:50~9:30　出席 30 名　会場　東根小学校
（第十九回）令和２年２月 20 日（木）　9:40~10:25　出席 30 名　会場　東根小学校
（第二十回）令和２年２月 20 日（木）10:45~11:30　出席 30 名　会場　東根小学校
（第二十一回）令和２年２月 20 日（木）11:35~12:20　出席 31 名　会場　東根小学校
（第二十二回）令和２年２月 21 日（金）　8:50~9:35　出席 30 名　会場　宮前小学校
（第二十三回）令和２年２月 21 日（金）　9:40~10:25　出席 31 名　会場　宮前小学校

（２）税の提言に関する事業

①法人会全国大会（三重大会）

公益財団法人全国法人会総連合第３６回全国大会が、令和元年１０月３日（木）三重県「津市産業スポーツセンター」で開催され、令和元年度税制改正に関する提言が決議されました。

②税制改正要望活動

公益財団法人全国法人会総連合第３６回全国大会で決議された要望書等を、全国８０万社の声として政府・国会をはじめ、目黒区選出の国会議員ならびに目黒区長、目黒区議会議長に直接面会・手渡し、実現に向け強く要望しました。

③全国青年の集い（大分大会）

全国青年の集い大分大会が、令和元年１１月８日（金）大分県「iichiko 総合文化センター」他にて開催され、「ポジティブ思考～健康な心と体で未来を動かす～」をテーマに、タレントのアンミカ氏の記念講演や、青年部会連絡協議会、租税教育プレゼンテーション等が行われました。

④全国女性フォーラム（富山大会）

全国女性フォーラム富山大会が平成３１年４月２５日（木）富山県「富山産業展示館」にて開催され、「わが映画人生」をテーマに俳優の奥田瑛二氏の記念講演や、女性部会連絡協議会、税に関する絵はがきコンクール、いちごプロジェクト等について協議されました。

（３）納税意識の高揚を目的とする事業

①第１支部税務研修会

令和元年 ５月 14 日（火）　18:00-19:00　　出席 13 名　場所　駒場住区センター
テーマ「平成３１年度税制改正等について」
講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

②第２支部税務研修会

令和元年 ６月　４日（火）　18:00-19:00　　出席 11 名　場所　菅刈住区センター
テーマ「平成３１年度税制改正等について」
講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

③第３支部税務研修会

令和元年 ５月 22 日（水）　18:30-19:00　　出席 17 名　場所　目黒法人会館
テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

④第４支部税務研修会

令和元年 ５月16日（木） 18:00-19:00　出席15名　場所　目黒法人会館

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

⑤第６支部税務研修会

令和元年 ５月30日（木） 18:00-19:00　出席14名　場所　下目黒住区センター

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

⑥第７支部税務研修会

令和元年 ５月31日（金） 17:30-18:30　出席16名　場所　慶興

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

⑦第８支部税務研修会

令和元年 ５月29日（水） 18:00-19:00　出席21名　場所　目黒法人会館

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

⑧第９支部税務研修会

令和元年 ５月27日（月） 18:00-19:00　出席14名　場所　目黒法人会館

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

⑨第１０支部税務研修会（第一回）

令和元年 ５月20日（月） 18:00-19:00　出席18名　場所　目黒法人会館

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

第１０支部税務研修会（第二回）

令和元年10月16日（水） 18:00-19:30　出席15名　場所　目黒法人会館

テーマ「消費税引き上げへの対応」

講　師　辻・本郷税理士法人渋谷事務所　税理士　夏賀弘次　氏

⑩第１１支部税務研修会（第一回）

令和元年 ５月15日（水） 18:00-19:00　出席17名　場所　ゼネラルボンド㈱

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

第１１支部税務研修会（第二回）

令和２年 ２月12日（水） 18:00-19:15　出席19名　場所　ゼネラルボンド㈱

テーマ「身近な税金はなし」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　河場統括官

⑪第１２支部税務研修会

令和元年 ５月13日（月） 18:00-19:00　出席28名　場所　梅華

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

⑫第１３支部税務研修会

令和元年 5月27日（月） 18:00-19:00　出席12名　場所　中根寿司

テーマ「平成３１年度税制改正等について」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　菊地統括官

⑬税制税務委員会研修会

令和２年 2月 3日（月） 17:00-18:30　出席17名　場所　目黒法人会館

テーマ「令和３年度税制改正要望に係る研修会」

講　師　税理士　四方　茂　氏

⑭消費税軽減税率制度説明会（第一回）

平成31年4月22日（月） 15:00-17:00　出席21名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

消費税軽減税率制度説明会（第二回）

平成31年4月24日（水） 15:00-17:00　出席14名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

消費税軽減税率制度説明会（第三回）

令和元年 7月 4日（木） 15:00-17:00　出席23名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　天野審理上席

消費税軽減税率制度説明会（第四回）

令和元年 8月 6日（火） 15:00-17:00　出席21名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　牧野審理上席

消費税軽減税率制度説明会（第五回）

令和元年 8月23日（金） 15:00-17:00　出席15名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　牧野審理上席

消費税軽減税率制度説明会（第六回）

令和元年 9月 6日（金） 15:00-17:00　出席 7名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　牧野審理上席

消費税軽減税率制度説明会（第七回）

令和元年10月15日（火） 15:00-17:00　出席12名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　牧野審理上席

消費税軽減税率制度説明会（第八回）

令和元年10月18日（金） 14:00-16:00　出席12名　場所　目黒税務署

テーマ「消費税軽減税率制度に係る研修会」

講　師　目黒税務署法人課税第一部門　牧野審理上席

⑮源泉部会　源泉税基礎研修会（第一回）

平成31年4月16日（火）14:00-16:00　出席20名　場所　目黒法人会館

テーマ「源泉徴収事務の基礎編」

講　師　目黒税務署法人課税第二部門　田邊源泉審理官

源泉部会基礎研修会（第二回）

令和元年 6月18日（火）14:00-16:00　出席16名　場所　目黒法人会館

テーマ「源泉徴収事務の中級編」

講　師　目黒税務署法人課税第二部門　田邊源泉審理官

⑯源泉部会実務研修会（第一回）

令和元年10月16日（水）13:30-16:30　出席22名　場所　目黒法人会館

テーマ「年末調整の仕方（初心者向け）」

講　師　目黒税務署法人課税第二部門　榎本源泉審理上席

源泉部会実務研修会（第二回）

令和元年10月24日（木）14:00-16:00　出席34名　場所　目黒法人会館

テーマ「年末調整チェックポイント」

講　師　目黒税務署法人課税第二部門　榎本源泉審理上席

⑰女性部会税務研修会（第一回）

令和元年 5月28日（火）17:00-18:00　出席29名　場所　目黒法人会館

テーマ「税のエピソード」

講　師　目黒税務署　長谷川法人担当副署長

女性部会税務研修会（第二回）

令和2年 2月19日（水）17:00-18:00　出席28名　場所　目黒法人会館

テーマ「実録「税務調査」」

講　師　目黒税務署　川口署長

⑱青年部会税務研修会

令和元年 5月21日（火）17:00-18:00　出席27名　場所　目黒法人会館

テーマ「税と法廷」

講　師　目黒税務署　坂井署長

⑲税を知る仲間づくり交流会セミナー

令和元年11月21日（木）17:00-18:30　出席26名　場所　代官山花壇

テーマ「税理士が見つけた“設立後初めての決算事例”」

講　師　辻・本郷税理士法人渋谷事務所所長　　夏賀弘次　氏

⑳税を考える週間「税務講演会」（共催　目黒税務連絡協議会）

令和元年11月12日（火）18:00-20:30　出席130名　会場　目黒区総合庁舎

テーマ「くらしを支える税」

講　師　目黒税務署　川口署長

㉑納税表彰式（共催　目黒税務連絡協議会）

令和元年11月14日（木）16:00-17:30　出席80名　会場　目黒区総合庁舎

納税功労者への署長表彰・感謝状贈呈・税に関する作文の表彰

㉒納税 PR 活動（目黒区商工まつり・当会ブースにて）

令和元年 7 月 27 日（土）・28 日（日） 10:00-17:00 参加者 720 名 会場 目黒区民センター

税金クイズ・1 億円の重さ体験コーナー チラシ配布・e-Tax 体験コーナーなどで税を PR

納税 PR 活動（目黒区民まつり・共催 目黒税務署・目黒税務連絡協議会）

令和元年 9 月 15 日（日） 10:00-16:00 参加者 470 名 会場 目黒区民センター

税金クイズ・1 億円の重さ体験コーナー チラシ配布・e-Tax 体験コーナーなどで税を PR

納税 PR 活動（こまばのまつり・第一支部）

令和元年10 月 6 日（日） 10:00-15:00 参加者 150 名 会場 駒場野公園

税金クイズ・チラシ配布・e-Tax 体験コーナーなどで税を PR

納税 PR 活動（菅刈住区まつり・第二支部）

令和元年10 月 6 日（日） 10:00-15:00 参加者 200 名 会場 菅刈公園

税金クイズ・チラシ配布・e-Tax 体験コーナーなどで税を PR

納税 PR 活動（東山貝塚まつり・第二支部）

令和元年10 月 20 日（日） 10:00-15:00 参加者 200 名 会場 東山公園

税金クイズ・チラシ配布・e-Tax 体験コーナーなどで税を PR

㉓女性部会主催「税に関する絵はがきコンクール」

租税教育統一活動の一環として、未来を担う子どもたちに税について理解を深めてもらうため、小学生高学年（5・6 年生）を対象に、税金は毎日の生活の中でどのように役立っているのか、税の大切さや税の果たす役割について学んでもらい、その知識や感想を絵はがきにすることで、より理解と関心を深めいただくことを目的として、税に関する絵はがきコンクールを実施しています。

令和元年度の応募件数は、８６５作品でした。

㉔ホームページ並びに広報誌による税情報の発信

ホームページでは、各種研修会、講習会、講演会、地域イベントの開催要領を掲載し参加の募集を行うとともに、確定申告 PR など各種税情報を掲載、更に会員の福利厚生に関する様々な情報やインターネットで受けられるインターネットセミナーなどを多岐に渡って掲載し、情報については毎週更新を行っています。

## II 公益目的事業２・・・地域企業の健全な発展に資する事業

（1）実務セミナー

①利益・資金管理セミナー

令和元年 8 月 23 日（金） 14:00-16:00 出席 9 名 会場 目黒法人会館

テーマ「PC を活用しゲーム感覚で学ぶ！「利益管理」と「資金管理」」

講 師 ㈱エフシーバンク営業部長 鈴木智久 氏

②採用セミナー

令和元年 10 月 10 日（木） 15:00-17:00 出席 4 名 会場 目黒法人会館

テーマ「中小企業が採用に苦慮するワケとは」

講 師 ㈱アーヌエヌエ代表 杉山豊 氏

③事業承継セミナー

令和元年 11 月 20 日（水） 14:00-16:00 出席 7 名 会場 目黒法人会館

テーマ「よく分かる！会社の継ぎ方、売り方、畳み方講座」

講　師　ワイズパートナーズ税理士法人代表　小西孝幸　氏

④補助金活用セミナー

令和２年　２月 20 日（木）　14:00-16:00　出席　5　名　会場　目黒法人会館

テーマ「補助金の公募条件に対処する方法」

講　師　中小企業診断士　吉村正平　氏

⑤第８支部家族信託研修会

令和元年　９月 19 日（木）　18:00-19:30　出席 23 名　会場　目黒法人会館

テーマ「新しい相続のかたち「家族信託を考える」」

講　師　アミエル税理士法人代表　留目津　氏

⑥３級簿記講座（共催　目黒区）

令和元年９月４日（水）～ 10 月 23 日（水）　毎週水・金曜日　全 15 回　18:30-20:30

出席 50 名　延出席　750 名　会場　中小企業センター

総合テーマ「日商簿記検定３級をめざしての初級簿記講座」

講　師　税理士　淡路幸史　氏

⑦防犯講習会

第９支部防犯講習会

令和元年　７月 19 日（金）　18:00-19:30　出席 21 名　会場　朝倉

テーマ「日常における防犯について」

講　師　碑文谷警察署生活安全課課長　北村真一　氏

⑧第１１支部防災講習会

令和元年　７月 16 日（火）　18:00-19:30　出席 15 名　会場　ゼネラルボンド㈱

テーマ「あなたの防災対策は万全ですか？」

講　師　目黒区防災課係長　栗原孝之　氏

⑨第１１支部包括支援講習会

令和元年 12 月 11 日（水）　18:00-19:30　出席 19 名　会場　ゼネラルボンド㈱

テーマ「包括支援センターの業務内容とその活用について」

講　師　目黒区西部包括支援センター　岡島善仁　氏

（２）講演会・研修会

①経済講演会

令和元年　７月 26 日（金）　18:00-19:30　出席 370 名 会場　目黒区民センター

テーマ「どうなる日本！日本経済の明日を読む」

講　師　法政大学法学部教授　萩谷順　氏

②医療講演会

令和元年　７月 11 日（木）　17:00-18:30　出席 25 名　会場　代官山花壇

テーマ「がんにならない人の法則」

講　師　医学ジャーナリスト　松井宏夫　氏

③健康講演会（第６支部）

平成 30 年７月 12 日（金）　18:00-19:30　出席 23 名　会場　下目黒住区センター

テーマ「脳活に挑戦！～新たな発見、新たな私～」

講　師　㈱サルーク代表　小宮山寿美子　氏

④防災関係講演会（第１支部）

令和元年 11 月 15 日（金） 18:00-19:30 出席 30 名 会場 駒場住区センター

テーマ「今こそ！水害から身を守る！マイ・タイムラインを学ぼう」

講 師 タレント 赤プル 氏

防災関係講演会（第４支部）

令和元年 11 月 27 日（水） 18:00-19:30 出席 17 名 会場 目黒法人会館

テーマ「激増する自然災害に備える」

講 師 AIG 損害保険㈱シニアアンダーライター 早川究 氏

⑤第１・２・３・４支部合同講演会

令和２年 ２月 ４日（火） 18:00-19:30 出席 41 名 会場 代官山花壇

テーマ「災害から人命と事業を守るための防災・減災への対応」

講 師 MTRC 代表 髙橋勝 氏他

⑥第８・９・１０支部合同講演会

令和元年 11 月 29 日（金） 18:00-19:30 出席 55 名 会場 野村証券自由が丘支店

テーマ「プロスポーツで元気になる！～地域に根ざすもう一つのプロ野球～」

講 師 ジャパン・ベースボール・マーケティング代表 村山哲二 氏

⑦青年部会講演会

令和２年 ２月 ５日（水） 18:00-19:30 出席 87 名 会場 めぐろパーシモンホール

テーマ「事業承継は突然に」

講 師 ㈱文明堂東京代表 大野進司 氏

（３）パソコン教室・スマホ・タブレット講座

①第１１支部スマホ・タブレット教室

講 師 シニア情報生活アドバイザー 篠原英良 氏他 10:00-12:00 会場 佐藤パソコン教室

（第一回）令和元年５月 10 日（金） 出席 10 名

（第二回）令和元年６月 ７日（金） 出席 11 名

②第１１支部パソコン教室

講 師 シニア情報生活アドバイザー 佐藤昌子 氏 10:00-12:00 会場 佐藤パソコン教室

令和２年 ２月 27 日（木） 出席８名

（４）実地研修

第８支部管外研修会

令和元年 ９月 19 日（木） 参加 16 名 会場 豊洲

豊洲水産仲卸売場棟見学

源泉部会管外研修会

令和２年 ２月 13 日（木） 参加 20 名 会場 ホテル雅叙園東京

百段雛階段見学

第１０支部管外研修会（健康増進レクリエーション）

令和元年 11 月 16 日（土） 参加７名 会場 柴又

生活習慣病予防、健康管理増進向上等を目的とし、周辺を歩きながら様々な歴史と文化に触れる

青年部会一泊研修会

令和元年９月 27 日（金）－28 日（土） 参加４名 会場 日本メディカルトレーニングセンター

インストラクター指導による、生活習慣病予防、健康管理増進向上等を目的とする様々な研修・体力測定などを実施

（5）インターネットセミナー

ホームページによる一般公開インターネットセミナーを実施

## Ⅲ　公益目的事業３・・・地域社会への貢献を目的とする事業

（1）第５４回中目黒阿波踊り（主幹　第３支部）

令和元年８月　３日（土）　18:00-21:00　参加 105 名　会場　目黒銀座商店街、他「目黒法人会連」を結成し、次世代に、目黒在住の外国の方に、日本の夏祭りの伝統文化を理解、親しみ、興味を継承してもらうことを目的に中目黒阿波踊りに参加（練習会１２回開催）

（2）女性部会地域福祉社会の集いバザー

令和元年　10 月 26 日（土）　10:00-15:00　出席 12 名　会場　中目黒 GT

地域社会福祉興味促進のためのバザー開催

（3）女性部会クリスマスリース作成講習会

令和元年　11 月 22 日（金）　18:00-19:30　出席 21 名　会場　目黒法人会館

講　師　女性部会幹事　片山ひよし　氏

（4）女性部会目黒シティラン 法人会ＰＲブース

令和元年　11 月 24 日（日）　7:30-10:30　出席８名

２０２０年オリンピックエンブレム前でアテネオリンピック聖火トーチを持って写真を撮りましょうコーナーを開催　　参加者　500 名

（5）女性部会雑巾・タオル贈呈

令和元年　12 月 18 日（水）　13:30-14:30　出席４名

目黒区内二か所の特別養護老人ホームへ手作りの雑巾・タオルを贈呈

## Ⅳ　収益事業・・・会員の福利厚生に資する事業

（1）簡易生命保険団体保険料払い込み制度に係る集金業務

（2）貸し倒れ保障制度（取引信用保険）の普及推進（案内・周知）

## Ⅴ　共益事業・・・経営支援に資する事業

（1）クルマ関連サービス

（2）帰宅支援マップ提供サービス

（3）海外販路拡大支援サービス

（4）企業情報・格付情報照会サービス

## Ⅵ　共益事業・・・会員の交流に資するための事業

（1）新年賀詞交歓会（主催　目黒税務連絡協議会）

令和２年１月 29 日（水）　18:00-20:00　出席 130 名（法人会より 92 名）

会場　ホテル雅叙園東京

（2）厚生共益事業委員会主催交流会

①法人会福利厚生制度・会員勧奨推進講習会

令和元年　7月11日（木）　18:00-20:30　出席25名　会場　代官山花壇

②ボウリング大会

令和２年　２月14日（金）　出席100名　　場所　品川プリンスホテルボウリングセンター

（３）支部企業交流会等

①第３支部企業交流会

令和元年 12月16日（月）　18:30-20:30　出席26名　会場　はな豆

②第６支部企業交流会

令和元年　９月13日（金）　14:00-21:00　出席16名　会場　両国

③第７支部夏季企業交流会

令和元年　８月23日（金）　18:00-20:00　出席９名　会場　匯豐齋

④第７支部年末企業交流会

令和元年 12月18日（水）　18:00-20:00　出席10名　会場　裏の魚屋

⑤第８支部企業交流会

令和２年　１月22日（水）　18:00-20:00　出席20名　会場　銀河飯店

⑥第９支部夏季企業交流会

令和元年　８月27日（火）　18:30-20:00　出席15名　会場　響

⑦第９支部年末企業交流会

令和元年 12月 ５日（木）　18:30-20:00　出席20名　会場　蔭山樓

⑧第１０支部夏季企業交流会

令和元年　８月26日（月）　18:00-20:00　出席24名　会場　オリエンタルビストロＫ

⑨第１０支部年末企業交流会

令和元年 12月20日（金）　18:00-20:00　出席14名　会場　オリエンタルビストロＫ

⑩青年部会部会員企業交流会

令和元年　８月 ３日（土）　12:00-14:00　出席25名　会場　都会の農園

⑪組織委員会税を知る仲間づくり交流会

令和元年 11月21日（木）　17:00-20:30　出席26名　会場　代官山花壇

（４）ゴルフコンペ

①第１３支部ゴルフコンペ

令和元年　５月21日（火）　出席15名　会場　ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

令和元年 11月12日（火）　出席17名　会場　ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

## Ⅶ　組織状況

会員数（令和２年３月３１日現在）　　２，４７９社

令和元年度中の移動状況

| | | |
|---|---|---|
| | 入会 | ４４社 |
| | 退会 | ８６社 |
| 【退会内訳】 | 廃業・休業 | ５３社 |
| | 区外転出 | １９社 |
| | 所在不明 | １社 |
| | その他 | １３社 |

## Ⅷ　会議等開催状況

会議開催状況につきましては、会議回数が多いため省略させていただきます。
詳細につきましてはホームページを御参照下さい。

## Ⅸ　表彰等関係

### （1）目黒税務署・令和元年度納税表彰（令和元年１１月１４日）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 目黒税務署長表彰 | 理事 | （第１１支部長） | 後藤栄太氏 |
| | | （第６支部副支部長） | 黒澤清和氏 |
| | | （第１２支部副支部長） | 加賀見悌三氏 |
| 目黒税務署感謝状 | | （女性部会副部会長） | 角谷直子氏 |
| | | （第６支部副支部長） | 中澤英明氏 |
| | | （第３支部副支部長） | 小幡純也氏 |

### （2）東京都目黒都税事務所長感謝状表彰（令和元年１１月６日）

理事　（副会長）　和泉田　勲　氏

### （3）公益財団法人全国法人会総連合表彰（令和元年６月１２日）

全法連・功労者表彰（東法連会長・推薦分）

1　和泉田　勲　氏（理事・副会長）
2　田島順一郎　氏（理事・第２支部長）

### （4）一般社団法人東京法人会連合会表彰（令和元年６月１２日）

東法連・功労者表彰（目黒法人会枠）

1　谷口裕明　氏（理事・第７支部長）
2　成宮正和　氏（第３支部副支部長）
3　土橋新也　氏（第８支部副支部長）
4　大坪直昭　氏（第１０支部副支部長）
5　砂村雅則　氏（理事・青年部会長）

東法連・会員増強功労者表彰

1　鏑木敏嗣　氏（理事・第３支部長）
2　藤井圭一　氏（総務組織委員）
3　松尾勇貴　氏（青年部会幹事）

**第２号議案**

# 貸借対照表

令和2年3月31日現在

（単位:円）

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ．資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 1,083,707 | 434,143 | 649,564 |
| 当座預金 | 2,995,347 | 40,343 | 2,955,004 |
| 普通預金 | 1,555,474 | 2,474,607 | △ 919,133 |
| 振替貯金 | 833,685 | 4,463,642 | △ 3,629,957 |
| 定期預金 | 195,039 | 193,518 | 1,521 |
| 未収会費 | 295,200 | 786,303 | △ 491,103 |
| 預け金 | 1,700,000 | 1,500,000 | 200,000 |
| 立替金 | 661,580 | 1,544,234 | △ 882,654 |
| 流動資産合計 | 9,320,032 | 11,436,790 | △ 2,116,758 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本金引当預金 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 土地 | 119,300,000 | 119,300,000 | 0 |
| 建物 | 45,875,290 | 47,609,238 | △ 1,733,948 |
| 会館建替引当資産 | 69,551,104 | 67,738,899 | 1,812,205 |
| 什器備品減価償却引当資産 | 3,452,187 | 4,602,477 | △ 1,150,290 |
| 退職給付引当資産 | 6,998,667 | 5,798,959 | 1,199,708 |
| 出資金 | 10,000 | 10,000 | 0 |
| 特定資産合計 | 245,187,248 | 245,059,573 | 127,675 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 什器備品 | 549,268 | 715,807 | △ 166,539 |
| 電話加入権 | 256,200 | 256,200 | 0 |
| その他固定資産合計 | 805,468 | 972,007 | △ 166,539 |
| 固定資産合計 | 250,992,716 | 251,031,580 | △ 38,864 |
| 資産合計 | 260,312,748 | 262,468,370 | △ 2,155,622 |
| Ⅱ．負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 0 | 186,372 | △ 186,372 |
| 預り金 | 232,710 | 265,980 | △ 33,270 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 流動負債合計 | 302,710 | 522,352 | △ 219,642 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 6,959,705 | 5,764,799 | 1,194,906 |
| 固定負債合計 | 6,959,705 | 5,764,799 | 1,194,906 |
| 負債合計 | 7,262,415 | 6,287,151 | 975,264 |
| Ⅲ．正味財産の部 | | | |
| 1. 一般正味財産 | 253,050,333 | 256,181,219 | △ 3,130,886 |
| （うち基本財産への充当額） | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 |
| （うち特定資産への充当額） | 238,188,581 | 239,260,614 | △ 1,072,033 |
| 正味財産合計 | 253,050,333 | 256,181,219 | △ 3,130,886 |
| 負債及び正味財産合計 | 260,312,748 | 262,468,370 | △ 2,155,622 |

# 正味財産増減計算書

平成31年4月 1日から令和2年3月31日まで

（単位：円）

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ．一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 503 | 503 | 0 |
| 基本財産受取利息 | 503 | 503 | 0 |
| 特定資産運用益 | 288,703 | 288,701 | 2 |
| 特定資産受取利息 | 288,403 | 288,401 | 2 |
| 特定資産配当金 | 300 | 300 | 0 |
| 受取会費 | 22,568,300 | 22,144,662 | 423,638 |
| 正会員受取会費 | 22,228,300 | 21,768,662 | 459,638 |
| 会員特別受取会費 | 340,000 | 376,000 | △ 36,000 |
| 事業収益 | 1,249,106 | 892,902 | 356,204 |
| 研修会事業収益 | 887,790 | 440,200 | 447,590 |
| 簡易保険取扱事業収益 | 361,316 | 452,702 | △ 91,386 |
| 受取補助金等 | 15,286,531 | 13,773,800 | 1,512,731 |
| 受取全法連助成金振替額 | 12,536,600 | 11,634,700 | 901,900 |
| 受取全法連・東法連補助金 | 2,749,931 | 2,139,100 | 610,831 |
| 受取負担金 | 1,846,000 | 1,741,500 | 104,500 |
| 青年部会負担金 | 413,000 | 420,500 | △ 7,500 |
| 源泉部会負担金 | 456,000 | 468,000 | △ 12,000 |
| 総会等負担金収入 | 977,000 | 853,000 | 124,000 |
| 受取寄附金 | 210,000 | 235,000 | △ 25,000 |
| 受取寄附金 | 210,000 | 235,000 | △ 25,000 |
| 雑収益 | 1,656,374 | 1,679,951 | △ 23,577 |
| 受取利息 | 106 | 100 | 6 |
| 広告料収益 | 505,000 | 498,210 | 6,790 |
| 雑収益 | 1,151,268 | 1,181,641 | △ 30,373 |
| 経常収益計 | 43,105,517 | 40,757,019 | 2,348,498 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 40,196,410 | 37,157,766 | 3,038,644 |
| 役員報酬 | 4,740,000 | 4,740,000 | 0 |
| 給料手当 | 9,340,601 | 7,864,097 | 1,476,504 |
| 退職給付費用 | 961,897 | 504,922 | 456,975 |
| 退職給付共済掛金 | 434,700 | 434,700 | 0 |
| 福利厚生費 | 1,554,393 | 1,370,349 | 184,044 |
| 会議費 | 4,690,569 | 3,995,189 | 695,380 |
| 旅費交通費 | 1,147,279 | 1,379,874 | △ 232,595 |
| 通信運搬費 | 2,244,737 | 2,097,331 | 147,406 |
| 減価償却費 | 1,527,287 | 1,756,946 | △ 229,659 |
| 消耗品費 | 859,766 | 509,214 | 350,552 |
| 修繕費 | 850,712 | 377,577 | 473,135 |
| 印刷製本費 | 1,780,785 | 1,881,962 | △ 101,177 |
| 光熱費 | 539,724 | 531,505 | 8,219 |
| 委託費 | 181,458 | 349,815 | △ 168,357 |
| 保険料 | 80,301 | 92,651 | △ 12,350 |
| 諸謝金 | 2,185,524 | 2,268,532 | △ 83,008 |
| 賃借料 | 1,903,595 | 1,885,818 | 17,777 |
| 租税公課 | 839,528 | 841,344 | △ 1,816 |
| 広告宣伝費 | 221,200 | 303,054 | △ 81,854 |
| 支払負担金 | 1,130,529 | 1,567,119 | △ 436,590 |
| 新聞図書費 | 331,326 | 230,018 | 101,308 |
| 支払手数料 | 744,419 | 587,011 | 157,408 |
| 施設利用料 | 729,529 | 739,058 | △ 9,529 |
| 慶弔費 | 129,710 | 26,580 | 103,130 |
| 支払寄附金 | 50,605 | 15,000 | 35,605 |
| 表彰費 | 342,122 | 108,772 | 233,350 |

| 科目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 渉外費 | 198,451 | 284,393 | △ 85,942 |
| 雑費 | 455,663 | 414,935 | 40,728 |
| 管理費 | 5,887,710 | 5,246,697 | 641,013 |
| 役員報酬 | 1,260,000 | 1,260,000 | 0 |
| 給料手当 | 2,262,633 | 1,904,970 | 357,663 |
| 退職給付費用 | 233,009 | 122,313 | 110,696 |
| 退職給付共済掛金 | 105,300 | 105,300 | 0 |
| 福利厚生費 | 190,975 | 146,481 | 44,494 |
| 旅費交通費 | 109,899 | 104,516 | 5,383 |
| 通信運搬費 | 106,376 | 81,983 | 24,393 |
| 減価償却費 | 290,917 | 303,268 | △ 12,351 |
| 会議費 | 237,545 | 244,887 | △ 7,342 |
| 広告宣伝費 | 0 | 1,346 | △ 1,346 |
| 表彰費 | 18,390 | 0 | 18,390 |
| 賃借料 | 240,671 | 235,939 | 4,732 |
| 消耗品費 | 25,282 | 18,331 | 6,951 |
| 修繕費 | 109,462 | 48,585 | 60,877 |
| 印刷製本費 | 64,431 | 54,100 | 10,331 |
| 光熱費 | 69,448 | 68,391 | 1,057 |
| 委託費 | 34,568 | 34,215 | 353 |
| 保険料 | 12,439 | 12,439 | 0 |
| 諸謝金 | 141,316 | 140,358 | 958 |
| 租税公課 | 159,872 | 160,256 | △ 384 |
| 支払手数料 | 50,585 | 40,083 | 10,502 |
| 新聞図書費 | 9,022 | 15,336 | △ 6,314 |
| 慶弔費 | 16,690 | 3,420 | 13,270 |
| 渉外費 | 24,249 | 35,307 | △ 11,058 |
| 施設利用料 | 59,920 | 53,840 | 6,080 |
| 雑費 | 54,711 | 51,033 | 3,678 |
| 経常費用計 | 46,084,120 | 42,404,463 | 3,679,657 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | △ 2,978,603 | △ 1,647,444 | △ 1,331,159 |
| 基本財産評価損益等 | 0 | 0 | 0 |
| 特定資産評価損益等 | 0 | 0 | 0 |
| 投資有価証券評価損益等 | 0 | 0 | 0 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △ 2,978,603 | △ 1,647,444 | △ 1,331,159 |
| 2. 経常外損益の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 固定資産除却損 | 82,283 | 0 | 82,283 |
| 経常外費用計 | 82,283 | 0 | 82,283 |
| 当期経常外増減額 | △ 82,283 | 0 | △ 82,283 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | △ 3,060,886 | △ 1,647,444 | △ 1,413,442 |
| 法人税等引当支出 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 3,130,886 | △ 1,717,444 | △ 1,413,442 |
| 一般正味財産期首残高 | 256,181,219 | 257,898,663 | △ 1,717,444 |
| 一般正味財産期末残高 | 253,050,333 | 256,181,219 | △ 3,130,886 |
| Ⅱ. 指定正味財産増減の部 | | | |
| 受取補助金等 | | | |
| 受取全法連助成金 | 12,536,600 | 11,634,700 | 901,900 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 12,536,600 | △ 11,634,700 | △ 901,900 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅲ. 正味財産期末残高 | 253,050,333 | 256,181,219 | △ 3,130,886 |

# 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月 1日から令和2年3月31日まで

（単位：円）

| 科目 | 公益目的事業会計 | | | | | 収益事業等会計 | | | 法人会計 | 内部取引消去 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 公益事業－1 | 公益事業－2 | 公益事業－3 | 公益事業－共通 | 小計 | 収益事業会計 | 研修事業等会計 | 小計 | | | |
| Ⅰ．一般正味財産増減の部 | | | | | | | | | | | |
| 1．経常増減の部 | | | | | | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 503 | 0 | 503 |
| 基本財産受取利息 | | | | | 0 | | | 0 | 503 | | 503 |
| 特定資産運用益 | 0 | 0 | 0 | 202,093 | 202,093 | 0 | 0 | 0 | 86,610 | 0 | 288,703 |
| 特定資産受取利息 | | | | 201,883 | 201,883 | | | 0 | 86,520 | | 288,403 |
| 特定資産配当金 | | | | 210 | 210 | | | 0 | 90 | | 300 |
| 受取会費 | 0 | 0 | 175,000 | 11,114,150 | 11,289,150 | 0 | 140,000 | 140,000 | 11,139,150 | 0 | 22,568,300 |
| 正会員受取会費 | | | | 11,114,150 | 11,114,150 | | | 0 | 11,114,150 | | 22,228,300 |
| 会員特別受取会費 | | | 175,000 | | 175,000 | | 140,000 | 140,000 | 25,000 | | 340,000 |
| 事業収益 | 186,000 | 183,600 | 87,900 | 0 | 457,500 | 361,316 | 430,290 | 791,606 | 0 | 0 | 1,249,106 |
| 研修会事業収益 | 186,000 | 183,600 | 87,900 | | 457,500 | | 430,290 | 430,290 | | | 887,790 |
| 簡易保険取扱事業収益 | | | | | 0 | 361,316 | | 361,316 | | | 361,316 |
| 受取補助金等 | 600,000 | 200,000 | 100,000 | 13,457,600 | 14,357,600 | 378,931 | 0 | 378,931 | 550,000 | 0 | 15,286,531 |
| 全法連助成金 | | | | 12,536,600 | 12,536,600 | | | 0 | | | 12,536,600 |
| 全法連・鹿法連補助金 | 500,000 | 200,000 | 100,000 | 921,000 | 1,821,000 | 378,931 | | 378,931 | 550,000 | | 2,749,931 |
| 受取負担金 | 0 | 0 | 0 | 869,000 | 869,000 | 0 | 977,000 | 977,000 | 0 | 0 | 1,846,000 |
| 青年部会負担金 | | | | 413,000 | 413,000 | | | 0 | | | 413,000 |
| 婦果部会負担金 | | | | 456,000 | 456,000 | | | 0 | | | 456,000 |
| 総会等負担金 | | | | | 0 | | 977,000 | 977,000 | | | 977,000 |
| 受取寄附金 | 0 | 0 | 210,000 | 0 | 210,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 210,000 |
| 受取寄附金 | | | 210,000 | | 210,000 | | | 0 | | | 210,000 |
| 雑収益 | 519,500 | 0 | 100,605 | 0 | 620,105 | 491,938 | 26,100 | 518,038 | 518,231 | 0 | 1,656,374 |
| 受取利息 | | | | | 0 | | | 0 | 106 | | 106 |
| 広告料収益 | 505,000 | | | | 505,000 | | | 0 | | | 505,000 |
| 雑収益 | 14,500 | | 100,605 | | 115,105 | 491,938 | 26,100 | 518,038 | 518,125 | | 1,151,268 |
| 経常収益計 | 1,305,500 | 383,600 | 573,505 | 25,642,843 | 28,005,448 | 1,232,185 | 1,573,390 | 2,805,575 | 12,294,494 | 0 | 43,105,517 |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 18,939,997 | 6,410,983 | 5,910,525 | 0 | 31,261,505 | 1,157,532 | 7,777,373 | 8,934,905 | 0 | 0 | 40,196,410 |
| 役員報酬 | 1,800,000 | 900,000 | 900,000 | | 3,600,000 | 180,000 | 960,000 | 1,140,000 | | | 4,740,000 |
| 給料手当 | 4,061,131 | 1,740,485 | 1,160,323 | | 6,961,939 | 406,113 | 1,972,549 | 2,378,662 | | | 9,340,601 |
| 退職給付費用 | 113,217 | 179,235 | 119,490 | | 716,942 | 41,821 | 203,134 | 244,955 | | | 961,897 |
| 退職給付共済掛金 | 189,000 | 81,000 | 54,000 | | 324,000 | 18,900 | 91,800 | 110,700 | | | 434,700 |
| 福利厚生費 | 780,330 | 251,279 | 212,874 | | 1,244,483 | 50,255 | 259,655 | 309,910 | | | 1,554,393 |
| 会議費 | 1,942,032 | 323,030 | 722,359 | | 2,987,421 | 79,191 | 1,623,957 | 1,703,148 | | | 4,690,569 |
| 旅費交通費 | 632,417 | 157,598 | 121,267 | | 911,282 | 28,919 | 207,078 | 235,997 | | | 1,147,279 |
| 通信運搬費 | 1,404,886 | 282,704 | 223,419 | | 1,911,009 | 27,992 | 305,736 | 333,728 | | | 2,244,737 |
| 減価償却費 | 818,191 | 272,730 | 181,819 | | 1,272,740 | 54,545 | 200,002 | 254,547 | | | 1,527,287 |
| 消耗品費 | 351,288 | 23,698 | 461,078 | | 836,064 | 4,739 | 18,963 | 23,702 | | | 859,766 |
| 修繕費 | 420,556 | 144,026 | 108,499 | | 673,081 | 28,805 | 148,826 | 177,631 | | | 850,712 |
| 印刷製本費 | 1,329,594 | 84,774 | 261,863 | | 1,676,231 | 16,954 | 87,600 | 104,554 | | | 1,780,785 |
| 光熱費 | 266,817 | 91,375 | 68,836 | | 427,028 | 18,275 | 91,421 | 112,696 | | | 539,724 |
| 委託費 | 97,211 | 32,403 | 21,602 | | 151,216 | 6,480 | 23,762 | 30,242 | | | 181,458 |
| 保険料 | 49,983 | 11,661 | 7,774 | | 69,418 | 2,332 | 8,551 | 10,883 | | | 80,301 |
| 賃借料 | 633,944 | 949,378 | 362,876 | | 1,946,198 | 37,188 | 202,138 | 239,326 | | | 2,185,524 |
| 租税公課 | 924,677 | 316,670 | 271,688 | | 1,513,035 | 63,334 | 327,226 | 390,560 | | | 1,903,595 |
| 広告宣伝費 | 449,840 | 149,880 | 99,920 | | 699,640 | 29,976 | 109,912 | 139,888 | | | 839,528 |
| 支払負担金 | 221,200 | | | | 221,200 | | | 0 | | | 221,200 |
| 新聞図書費 | 588,769 | 64,800 | 186,000 | | 839,569 | | 290,960 | 290,960 | | | 1,130,529 |
| 支払手数料 | 238,980 | 50,423 | 8,940 | | 298,343 | 2,373 | 30,610 | 32,983 | | | 331,326 |
| 施設利用料 | 543,951 | 66,556 | 50,139 | | 660,646 | 13,566 | 70,207 | 83,773 | | | 744,419 |
| 慶弔費 | 283,280 | 87,237 | 101,640 | | 472,157 | 15,767 | 241,605 | 257,372 | | | 729,529 |
| 支払寄附金 | 64,123 | 21,960 | 16,543 | | 102,626 | 4,392 | 22,692 | 27,084 | | | 129,710 |
| 雑費 | | | 50,605 | | 50,605 | | | 0 | | | 50,605 |
| 減価償却費 | 126,227 | 24,193 | 18,225 | | 168,645 | 4,838 | 168,639 | 173,477 | | | 342,122 |
| 渉外費 | 93,162 | 31,905 | 34,035 | | 159,102 | 6,381 | 32,968 | 39,349 | | | 198,451 |
| 雑費 | 210,191 | 71,983 | 84,711 | | 366,885 | 14,396 | 74,382 | 88,778 | | | 455,663 |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,887,710 | 0 | 5,887,710 |
| 役員報酬 | | | | | 0 | | | 0 | 1,260,000 | | 1,260,000 |
| 給料手当 | | | | | 0 | | | 0 | 2,262,633 | | 2,262,633 |
| 退職給付費用 | | | | | 0 | | | 0 | 233,009 | | 233,009 |
| 退職給付共済掛金 | | | | | 0 | | | 0 | 105,300 | | 105,300 |
| 福利厚生費 | | | | | 0 | | | 0 | 190,975 | | 190,975 |
| 旅費交通費 | | | | | 0 | | | 0 | 109,899 | | 109,899 |
| 通信運搬費 | | | | | 0 | | | 0 | 106,376 | | 106,376 |
| 減価償却費 | | | | | 0 | | | 0 | 290,917 | | 290,917 |
| 会議費 | | | | | 0 | | | 0 | 237,545 | | 237,545 |
| 広告宣伝費 | | | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 渉外費 | | | | | | | | | 18,390 | | 18,390 |
| 賃借料 | | | | | 0 | | | 0 | 240,671 | | 240,671 |
| 消耗品費 | | | | | 0 | | | 0 | 25,282 | | 25,282 |
| 修繕費 | | | | | 0 | | | 0 | 109,462 | | 109,462 |
| 印刷製本費 | | | | | 0 | | | 0 | 64,431 | | 64,431 |
| 光熱費 | | | | | 0 | | | 0 | 69,448 | | 69,448 |
| 委託費 | | | | | 0 | | | 0 | 34,568 | | 34,568 |
| 保険料 | | | | | 0 | | | 0 | 12,439 | | 12,439 |
| 賃借料 | | | | | 0 | | | 0 | 141,316 | | 141,316 |
| 租税公課 | | | | | 0 | | | 0 | 159,872 | | 159,872 |
| 支払手数料 | | | | | 0 | | | 0 | 50,585 | | 50,585 |
| 新聞図書費 | | | | | 0 | | | 0 | 9,022 | | 9,022 |
| 慶弔費 | | | | | 0 | | | 0 | 16,690 | | 16,690 |
| 渉外費 | | | | | 0 | | | 0 | 24,249 | | 24,249 |
| 施設利用料 | | | | | 0 | | | 0 | 59,920 | | 59,920 |
| 雑費 | | | | | 0 | | | 0 | 54,711 | | 54,711 |
| 経常費用計 | 18,939,997 | 6,410,983 | 5,910,525 | 0 | 31,261,505 | 1,157,532 | 7,777,373 | 8,934,905 | 5,887,710 | 0 | 46,084,120 |
| 計画変更等調整前当期経常増減額 | △ 17,634,497 | △ 6,027,383 | △ 5,237,020 | 25,642,843 | △ 3,256,057 | 74,653 | △ 6,203,983 | △ 6,129,330 | 6,406,784 | 0 | △ 2,978,603 |
| 基本財産評価損益等 | | | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 特定資産評価損益等 | | | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 投資有価証券評価損益等 | | | | | 0 | | | 0 | | | 0 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | △ 17,634,497 | △ 6,027,383 | △ 5,237,020 | 25,642,843 | △ 3,256,057 | 74,653 | △ 6,203,983 | △ 6,129,330 | 6,406,784 | 0 | △ 2,978,603 |
| 2．経常外損益の部 | | | | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | | | | | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | | | | | | | |
| 固定資産除却損 | | | | | 0 | | | 0 | 82,283 | | 82,283 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 82,283 | 0 | 82,283 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | △ 82,283 | 0 | △ 82,283 |
| 他会計振替額 | | | | | 0 | | | 0 | 0 | | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増 | △ 17,634,497 | △ 6,027,383 | △ 5,237,020 | 25,642,843 | △ 3,256,057 | 74,653 | △ 6,203,983 | △ 6,129,330 | 6,324,501 | 0 | △ 3,060,886 |
| 法人税等引当支出 | | | | | 0 | 70,000 | | 70,000 | | | 70,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 17,634,497 | △ 6,027,383 | △ 5,237,020 | 25,642,843 | △ 3,256,057 | 4,653 | △ 6,203,983 | △ 6,199,330 | 6,324,501 | 0 | △ 3,130,886 |
| 一般正味財産期首残高 | | | | | 0 | | | 0 | 256,181,219 | | 256,181,219 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 17,634,497 | △ 6,027,383 | △ 5,237,020 | 25,642,843 | △ 3,256,057 | 4,653 | △ 6,203,983 | △ 6,199,330 | 262,505,720 | 0 | 253,050,333 |
| Ⅱ．指定正味財産増減の部 | | | | | | | | | | | |
| 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 | 12,536,600 | 12,536,600 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,536,600 |
| 受取全法連助成金 | | | | 12,536,600 | 12,536,600 | | | | | | 12,536,600 |
| 一般正味財産への振替額 | | | | △ 12,536,600 | △ 12,536,600 | | | | | | △ 12,536,600 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅲ．正味財産期末残高 | △ 17,634,497 | △ 6,027,383 | △ 5,237,020 | 25,642,843 | △ 3,256,057 | 4,653 | △ 6,203,983 | △ 6,199,330 | 262,505,720 | 0 | 253,050,333 |

# 財　産　目　録

令和2年3月31日現在

（単位：円）

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---|---|---|---|---|
| （流動資産） | | | | |
| 現金預金 | 現　金 | 手許有高 | 運転資金として保有している | 1,083,707 |
| | 当座預金 | | 運転資金として保有している | 2,995,347 |
| | | 目黒信用金庫　三谷支店 | | 8,310 |
| | | 三井住友銀行　学芸大学駅前支店 | | 2,987,037 |
| | 普通預金 | | 運転資金として保有している | 1,555,474 |
| | | りそな銀行　中目黒支店 | | 262,331 |
| | | りそな銀行　学芸大学駅前支店 | | 461,737 |
| | | 城南信用金庫　碑衾支店 | | 113,934 |
| | | 目黒信用金庫　三谷支店 | | 84,842 |
| | | 目黒信用金庫　本店 | | 399,712 |
| | | りそな銀行　学芸大学駅前支店 | | 230,373 |
| | | 目黒信用金庫　本店 | | 2,545 |
| | 定期預金 | | 運転資金として保有している | 195,039 |
| | | 目黒信用金庫　本店 | | 156,430 |
| | | みずほ銀行　祐天寺支店 | | 38,609 |
| | 振替貯金 | ゆうちょ銀行　振替貯金 | 運転資金として保有している | 833,685 |
| | 現金預金合計 | | | 6,663,252 |
| | 未収会費 | 会員に対するもの | | 295,200 |
| | 預け金 | SMBC日興証券　自由が丘支店 | | 1,700,000 |
| | 立替金 | 会員に対するもの | | 661,580 |
| | | 簡易保険料 | 簡易保険関連 | 28,971 |
| | | 目黒優申会 | | 36,449 |
| | | その他 3件 | | 596,169 |
| | その他流動資産合計 | | | 2,656,780 |
| 流動資産合計 | | | | 9,320,032 |
| （固定資産） | | | | |
| 基本財産 | 基本引当金預金 | みずほ銀行　祐天寺支店（定期） | 運用益を公益目的事業に充てるために保有している財産である | 5,000,000 |
| | 基本財産合計 | | | 5,000,000 |
| 特定資産 | 土地 | 目黒区中町2丁目43－17　142.15㎡ | 共用財産である<br>（公益目的事業70% 収益事業等20% 法人会計10%） | 119,300,000 |
| | 建物 | 目黒法人会館鉄筋コンクリート3階建 | 共用財産である<br>（公益目的事業70% 収益事業等20% 法人会計10%） | 45,875,290 |
| | 会館建替引当預金 | | 会館建替費用のための引当資産である | 69,551,104 |
| | | 三井住友銀行　学芸大学駅前支店（定期） | | 12,000,000 |
| | | 目黒信用金庫　本店（定期） | | 10,000,000 |
| | | 三井住友銀行　学芸大学駅前支店（普通） | | 1,183,121 |
| | | 大東京信用組合　目黒支店 | | 111,235 |
| | | ゆうちょ銀行　振替貯金 | | 10,696 |
| | | ゆうちょ銀行　振替貯金 | | 10,222 |
| | | 三井住友銀行　学芸大学駅前支店（普通） | | 1,314,999 |
| | | りそな銀行　学芸大学駅前支店 | | 5,500,000 |
| | | 城南信用金庫　碑衾支店 | | 3,000,000 |
| | | 目黒信用金庫　三谷支店 | | 1,100,000 |
| | | りそな銀行　学芸大学駅前支店 | | 2,000,000 |
| | | ゆうちょ銀行　振替貯金 | | 3,300,000 |
| | | SMBC日興証券　自由が丘支店(国債) | | 20,014,700 |
| | | 野村證券㈱　自由が丘支店(国債) | | 10,006,150 |
| | 什器備品減価償却引当預金 | | 什器・備品等買換のための引当資産である | 3,452,187 |
| | | みずほ銀行　中目黒支店 | | 3,452,187 |
| | 退職給付引当預金 | | 職員の退職金の支給に備えるための引当資産である | 6,998,667 |
| | | みずほ銀行　祐天寺支店 | | 3,298,667 |
| | | ゆうちょ銀行　振替貯金 | | 3,700,000 |
| | 出資金 | 目黒信用金庫 | | 10,000 |
| | 特定資産合計 | | | 245,187,248 |
| その他流動資産 | 什器備品 | | 共用財産である<br>（公益目的事業70% 収益事業等20% 法人会計10%） | 549,268 |
| | 電話加入権 | | 共用財産である<br>（公益目的事業70% 収益事業等20% 法人会計10%） | 256,200 |
| | その他の固定資産合計 | | | 805,468 |
| 固定資産合計 | | | | 250,992,716 |
| 資産合計 | | | | 260,312,748 |
| （流動負債） | | | | |
| | 預り金 | | | 232,710 |
| | | 職員等 | 源泉所得税 | 214,710 |
| | | その他1件 | | 18,000 |
| | 未払法人税等 | 渋谷都税事務所 | 令和1年度法人都民税 | 70,000 |
| | 流動負債合計 | | | 302,710 |
| （固定負債） | | | | |
| | 退職給付引当金 | 職員 | 職員の退職金の支給に備えるための引当金である | 6,959,705 |
| | 固定負債合計 | | | 6,959,705 |
| 負債合計 | | | | 7,262,415 |
| 正味財産 | | | | 253,050,333 |

# 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

直接法による定率法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の経常基準

退職給付引当金は、年度末の要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税込額で表示している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

| 科　目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 基本引当金預金 | 5,000,000 | | | 5,000,000 |
| 小　計 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 土地 | 119,300,000 | | | 119,300,000 |
| 建物 | 47,609,238 | | 1,733,948 | 45,875,290 |
| 会館建替引当金預金 | 67,738,899 | 1,812,205 | | 69,551,104 |
| 退職給付引当預金 | 5,798,959 | 1,199,708 | | 6,998,667 |
| 什器備品減価償却引当預金 | 4,602,477 | | 1,150,290 | 3,452,187 |
| 出資金 | 10,000 | | | 10,000 |
| 小　計 | 245,059,573 | 3,011,913 | 2,884,238 | 245,187,248 |
| 合　計 | 250,059,573 | 3,011,913 | 2,884,238 | 250,187,248 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

| 科　目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 基本引当金預金 | 5,000,000 | ( 0) | ( 5,000,000) | ( 0) |
| 小　計 | 5,000,000 | ( 0) | ( 5,000,000) | ( 0) |
| 特定資産 | | | | |
| 土地 | 119,300,000 | ( 0) | ( 119,300,000) | ( 0) |
| 建物 | 45,875,290 | ( 0) | ( 45,875,290) | ( 0) |
| 会館建替引当金預金 | 69,551,104 | ( 0) | ( 69,551,104) | ( 0) |
| 退職給付引当預金 | 6,998,667 | ( 0) | ( 0) | ( 6,998,667) |
| 什器備品減価償却引当預金 | 3,452,187 | ( 0) | ( 3,452,187) | ( 0) |
| 出資金 | 10,000 | ( 0) | ( 10,000) | ( 0) |
| 小　計 | 245,187,248 | ( 0) | ( 238,188,581) | ( 6,998,667) |
| 合　計 | 250,187,248 | ( 0) | ( 243,188,581) | ( 6,998,667) |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科　目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|
| 建　物 | 137,030,377 | 91,155,087 | 45,875,290 |
| 什　器　備　品 | 3,885,922 | 3,336,654 | 549,268 |
| 合　計 | 140,916,299 | 94,491,741 | 46,424,558 |

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

| 種類及び銘柄 | 帳簿価額 | 時価 | 評価損益 |
|---|---|---|---|
| 国　債 | | | |
| 特定資産 | | | |
| 会館建替引当預金 | | | |
| 第318回利付国債 | 30,020,850 | 30,499,310 | 478,460 |
| 合　　計 | 30,020,850 | 30,499,310 | 478,460 |

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照上の記載区分 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 助成金 | | | | | | |
| 民間助成金 | 全国法人会総連合 | 0 | 12,536,600 | 12,536,600 | 0 | |
| 補助金 | | | | | | |
| 民間補助金 | 全国法人会総連合 | 0 | 1,061,000 | 1,061,000 | 0 | |
| 民間補助金 | 東京法人会連合会 | 0 | 1,688,931 | 1,688,931 | 0 | |

# 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の2.において記載している。

2. 引当金の明細

| 科　　目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 5,764,799 | 1,194,906 | 0 | | 6,959,705 |
| 引当金計 | 5,764,799 | 1,194,906 | 0 | 0 | 6,959,705 |

# 監 査 報 告 書

公益社団法人　目黒法人会
　会 長　　青　木　茂　　殿

令和2年5月15日

公益社団法人　目黒法人会
　監 事　竹　内　良　信　　㊞

公益社団法人　目黒法人会
　監 事　下　川　徳　雄　　㊞

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2　監査意見

（1）事業報告等の監査結果

一　事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並び財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

**報告事項**

# 令和２年度　事業計画書

令和２年４月１日から令和３年３月３１日まで

## Ⅰ．令和２年度基本方針

公益法人として、目黒法人会自らの自治により自己の責任において目黒法人会を管理・運営していかなければならない。公益財団法人　全国法人会総連合が制定した法人会の「法人自治」及び「自己責任」の原則に基づき、広く社会に目を向けて、「法人会の基本的指針」に則り、納税意識の向上、会員企業の研鑽、地域社会への公益貢献を図り、公益法人としての使命を達成するため、一体となって組織的な事業活動を展開する。

また、目黒法人会の目的・使命を達成するため、事業の実施にあたっては、法人会の原点である「税」に関する活動に力点を置きながら、行政と連携した公益性の高い事業展開に努めるとともに、目黒法人会活動の更なる活性化のために、会員勧奨及び会財政の健全化への対応に一層力を注ぎ、地域の発展と活気溢れ信頼される目黒法人会の確立をめざすために、以下に掲げる諸施策に取り組むものとする。

## Ⅱ．主な事業計画

１．納税意識の向上と税知識の普及に資するための施策の推進

公益法人とし、広く一般の企業や市民にも目を向けながら、納税意識の向上と税知識の普及に資するための施策を講じる。このため、税制関連の研修・セミナー等の充実を図るとともに、有益な資料を作成する等税関連コンテンツを拡充することにより、会員及び一般の企業や市民に対する適切な広報を実施する。令和２年度においても、消費税増税とそれに伴う軽減税率制度に納税者が混乱することのないよう制度の周知活動に注力する。

また、将来を担う小学校、中学校の生徒等に対する租税教育活動の充実に努めるほか、「税を考える週間」への協賛行事等を積極的に実施するとともに、当局及び税務関連団体等とも連携しながら、納税環境の整備（e-Ｔａｘ及びｅＬＴＡＸの一層の利用率向上、マイナンバー制度の周知)、自主点検チェックシートの普及拡大に努める。あらゆる機会を通じて納税者と当局の間の相互信頼・理解の醸成に努め、広く税務知識の普及を通じて納税道義の高揚を図り、公正な税制と円滑な税務行政の執行に寄与する。

さらに、e-Ｔａｘ、ｅＬＴＡＸ普及のために、電子申告の意義の重要性を訴え、会員企業９０％以上を目標に、より一層の利用率向上に努める。

２．税制に関する調査研究と要望活動の推進

健全な納税者団体として、中小企業の租税負担の軽減と合理・簡素化及び適正な税制確立のため、会員の要望意見を徴するとともに、税制等の調査・研究を行い、会員に周知するとともに、税制（使途問題を含む）に関する会員の意見を集約し、その意見が税制に反映されるよう、関係機関に対し要望活動を展開する。

意見の集約にあたっては、国税とともに地方税に関する要望等についても会員のニーズの把握に努める。

3．組織の充実・強化

厳しい社会・経済情勢の下、会員数の減少傾向が続いている中で、組織の充実強化を図るため、各種施策の検討を進める。また、会員勧奨増強月間を設けるとともに、会員の退会防止に努めながら、厚生制度受託会社とも連携し、役員一人一社以上の獲得を目標に全会一丸となった組織的な会員勧奨による会員の増強を図る。

さらに、会員紹介制度を活用し、転出会員の他法人会への継続加入推進に努めるとともに、一般社団法人東京法人会連合会と連携して調査部所管法人の勧奨を検討する。

4．研修の充実と経営支援活動の推進

目黒法人会の根幹事業である税法・税務関係研修・セミナーをはじめ、企業経営の健全化並びにその向上発展に資するために、多様なニーズに応える研修・セミナーの開催強化を積極的に努める。その際、他法人会連携による広域開催など、より効果的な開催方法やコストに配慮するとともに、体系的・連続的なメニューを構築するなど、研修内容の充実を図る。

なお、会員企業に加えて一般の企業･市民にも対象を広げ、一層公益性を高めるとともに、参加人員増加に努める。

また、会員企業を取り巻く経営環境を踏まえ、会員企業のニーズに適う会員企業のメリットを追求した各種の経営支援事業（会員サービス）を、関係委員会と協力して広く会員、一般に対して税の啓発活動、経営支援活動、社会貢献活動等の推進に努める。

5．広報活動の推進

目黒法人会の知名度の向上、会員への会活動の周知、会員勧奨のための広報活動を充実させるとともに、関係委員会と協力して広く一般に対しての税の啓発活動をはじめとする公益性の高い広報の推進に努める。

広報誌「椎の木」等やホームページは一般向けの情報伝達手段として最も迅速な広報となることから、引き続き税務をはじめ、経営・経済情勢、法人会活動等掲載内容の充実を図るとともに、特に公益的な事業についてはマスコミにアピールするためのパブリシティ活動を積極的に実施する。

さらに、e-Ｔａｘ利用促進ポスター、節電推進ポスターなど、公共性を有するものを中心に掲示、配布、事業活動ともに目黒法人会をＰＲするなど、目黒法人会における有効な広報活動についても検討する。

6．厚生共益事業の拡充

企業の存続や従業員の確保の上で、各種福利厚生制度は必要不可欠であり、目黒法人会の財政面における意義をも考慮し、制度の維持と普及推進を図る。このため、公益財団法人全国法人会総連合と受託協力３社が令和元年度から２年間実施する福利厚生制度創設５０周年に向けた「想いをつないで５０年『会員企業を守りたい』キャンペーン」の推進に積極的に協力することとし、一般社団法人東京法人会連合会及び協力３社との連携を強

化し福利厚生制度の拡大を目指した推進を図る。

推進に当たっては、従来の推進策とともに、役員加入率の向上と役員による新規加入企業の紹介を促進し、福利厚生制度加入企業数の増加を目指す。

また、会員の企業価値の向上、さらには目黒法人会の社会的評価の向上の視点からも福利厚生事業を展開する。

さらに、目黒法人会事業推進のためには、会員勧奨や財政基盤強化に資する訴求力のある厚生共益事業の構築・充実は重要であることから、厚生共益事業に関する情報収集を図り、より効果的な事業について検討を進める。

7．公益事業活動の推進

目黒法人会の公益事業活動については、引き続き税を中心として行うこととし、関係委員会等と連携のうえ税制に関する提言や租税教育の充実に努める。推進にあたっては、地域や社会への貢献が重要な課題であることも念頭におき、組織力を十分に生かし、関係機関や他の委員会等と連携しつつ、積極的かつ継続的に活動を実施する。

租税教育については、公益事業委員会、税制税務委員会、青年部会、女性部会の協力のもと、関係機関等と連携して積極的に推進する。

中小企業の税務コンプライアンス向上に向けた自主点検チェックシートについては、企業の健全な発展を目的とし、今後の活動の重要な柱のひとつに位置付け、利用拡大に向け更なる推進を図ることとする。

このほか、地域社会への貢献を目的に、税制度なども考慮し、グローバルな課題となっている環境問題についても、地球温暖化対策や節電対策などについて会員企業と取り組むこととし、引き続き「地球温暖化対策報告書」提出の定着を図り、中小規模事業所の自主的な取組みによる温暖化防止の実現に加えて、企業のコスト削減も図れるという二つの要素と、また事業税の減免にもつながるもので、前年度を上回る提出件数を目指し、提出の意義のＰＲ等を行い、積極的な推進を図るとともに、職場の健康づくり支援事業を東京都と連携して取り組むほか、引き続き新規事業の検討にも取り組み、公益事業活動のさらなる充実を図る。

また、目黒法人会における公益事業活動のあり方や取組み等について引き続き検討を行う。

8．源泉部会・青年部会・女性部会活動の充実

源泉部会・青年部会・女性部会の活動を活発に展開し、３部会のさらなる充実と部会員の研鑽を図るとともに、目黒法人会活動の担い手として目黒法人会活動の充実と活性化に資するための諸施策を積極的に講じる。

特に公益性の高い事業の実施に努め、未来を担う子どもたちへの租税教育、税に関する絵はがきコンクールを最重要事業のひとつとして位置付け、引き続き、租税教育、税に関する絵はがきコンクール活動や環境問題（ＣＯ２削減問題・節電）を充実させるために、親会等との連携を図りながら、より効果的な実施運営に努め、引き続き積極的に取り組む。

9．関係外部機関との連絡協調

目黒税務署をはじめとした税務関係諸官署および東京税理士会目黒支部をはじめとした

税務関係諸団体との連絡協調は、税に関する事業を基本とする法人会にとって欠かすことのできない重要なテーマであり、より一層密にするよう努める。

また、地域社会貢献活動の実施にあたっては、地方公共団体および地域関係諸団体との協調に配慮する。

10. 目黒法人会体制の整備

時代に合った組織運営体制の構築は必須の課題であり、公益法人として適切に対応するため、目黒法人会の自治及び自己責任の視点から諸規程・管理体制等所要の整備を行うとともに、他法人会間の連携強化・事務局充実に努める。

また、ＩＴを活用した会員サービス事業の拡充、効率的な事務運営のためのシステム整備を図るとともに、個人情報管理の徹底を図る。

## Ⅲ. 主な事業活動計画

### １．公益目的事業１　税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

#### （１）税知識の普及を目的とする事業

１）新設法人説明会

目的　新たに法人として設立された企業に対し、必要な諸届けなどの手続きをはじめ、事業の開始に際して法人税上の留意点等についての理解を促すことを目的として実施する。

講師は、目黒税務署法人課税第一部門及び第二部門担当官に依頼

対象　目黒税務署管内に新たに設立された全法人を対象、２ヶ月に１回開催

２）決算法人説明会

目的　決算を迎えた法人企業に対し、税制改正事項等決算手続きを行うに当たり留意点等を説明し適切な法人税等の申告が行われることを目的として実施する。

講師は、目黒税務署法人課税第一部門及び第二部門担当官に依頼

対象　目黒税務署管内の決算月を迎えた全法人を対象、毎月１回開催

３）租税教室

目的　目黒税務署管内の小学生、中学生を対象に、国税当局作成の租税教育用ビデオ等及び目黒法人会製作の教材を使用するとともに、身近な事例を解説し、税についての大切さを感じてもらうことを目的として実施する。

講師は目黒税務署総務課及び法人課税第一部門担当官、目黒法人会役員等に依頼

対象　目黒税務署管内の小学生、中学生を対象、通年開催

４）法人税申告書の見方・書き方研修会

目的　法人税申告書に記載されている内容を理解すること、さらには自主申告ができるよう、例題を使って申告書作成の手順を学ぶ。

講師は、目黒税務署法人課税第一部門担当官、東京税理士会目黒支部税理士に依頼

対象　目黒税務署管内の全法人を対象、年１回５回連続シリーズの講座として開催

5）法人税を基礎から学ぶセミナー

目的　法人税法の基本的な規定の把握は、企業にとって継続的な安定成長を目指すために重要で法人税法の基本的な知識を正確に把握、習得するために学ぶ。

講師は、東京税理士会目黒支部税理士に依頼

対象 目黒税務署管内の全法人を対象、年１回１２回連続シリーズの講座として開催

6）知っておきたい経理担当者及び経営者のための税務知識セミナー

目的　法人税、消費税、所得税他種々の税について、これだけは知っておきたい税知識を習得し、企業活動の円滑な実施に資するために学ぶ。

講師は、東京税理士会目黒支部税理士に依頼

対象　目黒税務署管内の全法人を対象、年１回１０回連続シリーズの講座として開催

7）簿記講座

目的　国税、地方税等の申告書作成ができるための経理実務簿記の基本を学ぶ。目黒区との共催にて開催する。

講師は、東京税理士会目黒支部税理士に依頼

対象　目黒税務署管内の全法人を対象、年１回１５回連続シリーズの講座として開催

8）e-Ｔａｘ、ｅＬＴＡＸ(国税、地方税電子申告・納税システム)実務研修会

目的　実際にインターネット(パソコン)を使用し、e-Ｔａｘ、ｅＬＴＡＸ電子申告・納税システムの内容を理解し、更に自ら申告・納税ができることを目的として開催する。

講師は、目黒税務署法人課税第一部門担当官に依頼

対象　目黒税務署管内の全法人を対象、年２～３回実施

9）青年部会税務研修会

目的　法人税にとらわれることなく、さまざまな税を研修のテーマに取り上げ、税に関する理解と知識を深めるとともに、正しい税知識を身につけることを目的として開催する。

講師は、目黒税務署長、副署長、各部門担当官等に依頼

対象　青年部会員・目黒税務署管内の全法人青年経営者を対象、年２回実施

10）女性部会税務研修会

目的　法人税にとらわれることなく、さまざまな税を研修のテーマに取り上げ、税に関する理解と知識を深めるとともに、正しい税知識を身につけることを目的として開催する。

講師は、目黒税務署長、副署長、各部門担当官等に依頼

対象　女性部会員・目黒税務署管内の全法人女性経営者を対象、年２回実施

11）源泉部会税務研修会

目的　主に源泉所得税に関する適正な取扱いを研修テーマに取り上げ、税に関する理解と知識を深めるとともに、正しい税知識を身につけることを目的に開催する。

講師は、目黒税務署法人課税第二部門担当官に依頼

対象　源泉部会員・目黒税務署管内の全法人の源泉徴収責任者、実務担当者を対象、年７回実施

12）支部税務研修会

目的　さまざまな税を研修テーマに取り上げ、税に関する理解と知識を深めるとともに、正しい税知識を身につけることを目的として開催する。

講師は、目黒税務署各部門担当官に依頼

対象　支部会員・支部管内の全法人を対象、支部にて年２～３回実施

## （2）納税意識の高揚を目的とする事業

1）納税表彰式

目的　目黒税務署が毎年行う納税表彰式は、納税協力団体（目黒税務連絡協議会）の活動を積極的に行い納税意識の高揚ならびに税知識の普及促進に対し、永年の功労があった者に目黒税務署長名により、表彰状、感謝状が贈られる。一層の納税協力活動の推進者を育成するとともに、広く社会に納税の重要性を広報する。

対象　表彰対象者・目黒法人会役員、目黒税務連絡協議会役員、一般

2）目黒区商工まつり（めぐろリバーサイドフェスティバル）税金クイズ

目的　目黒区主催イベントに参加し、一般来場者を対象に税金クイズ、一億円レプリカ重さ体験、e-Ｔａｘ利用ＰＲを実施。税の大切さ、お金の大切さと正しい税知識の普及推進を図ることを目的としている。

税金クイズは目黒税務署担当官が作成

対象　一般来場者　大人向け・子供向けの２種類を実施

3）目黒区民まつり（目黒のＳＵＮまつり）税金クイズ

目的　目黒区民まつり実行委員会主催イベントに参加し、一般来場者を対象に税金クイズ、一億円レプリカ重さ体験、e-Ｔａｘ使用体験を実施。税の大切さ、お金の大切さと正しい税知識の普及推進を図ることを目的としている。

目黒税務署及び目黒税務連絡協議会（税務６団体）が協働して参加。税金クイズは目黒税務署担当官が作成

対象　一般来場者　大人向け・子供向けの２種類を実施

4）「税を考える週間」広報活動及び税制講演会

目的　「税を考える週間」行事の一環として、税を考える機会を提供するとともに、税についての理解、意識啓発を促すことを目的として、「税制講演会」を開催する。

公益財団法人全国法人会総連合作成の税の啓発用小冊子、「おじいさんの赤いつぼ」を配布

講師は、目黒税務署長及び税制税務関係コンサルタント等

対象　目黒税務署管内の全法人、目黒区民を対象、年１回開催

5）税に関する作文・標語の表彰式

目的　「税を考える週間」行事の一環として、目黒税務署管内の小、中学生を対象に「税」をテーマに作文、標語の募集を行い、優れた作品を表彰する。

表彰式には関係者が多数出席し、受賞者が作品を披露、朗読し、将来の社会を支え

る若者にさらなる税についての理解と意識啓発の機会を提供する。

対象　目黒税務署管内の中学生、目黒税務連絡協議会（税務６団体）として活動に参加。作文、標語募集の主体は全国納税貯蓄組合連合会

６）税に関する絵はがきコンクール

目的　目黒区内の小学５～６年生を対象に、税に関する興味と理解を深め、正しい税知識を身に付けることを目的に、税に関する絵はがきコンクールを実施する。国税庁後援の認可を受け、目黒区租税教育推進協議会とＰＴＡ会を通じ、各小学校に参加応募を依頼し、優れた作品を表彰する。

表彰式には関係者が多数出席し、受賞者が作品を披露、朗読し、将来の社会を支える若者にさらなる税についての理解と意識啓発の機会を提供する。

対象　目黒区内の小学５～６年生

７）地域イベント参加税金クイズ

目的　目黒税務署管内の商店街や自治会等では、地域振興と居住者の交流を目的に、年間を通じて様々な催事やイベントが行われている。このイベントに該当地区の支部が単独もしくは複数で参加し、目黒法人会の税金クイズコーナー、税のゲームコーナー等を設け、イベントの充実に寄与する。税金クイズは主に子供たちを対象とし、回答者にはノベルティを差し上げる。

イベントへの参加の楽しさと小さい頃から税を身近なものと感じてもらい、税についての理解と意識啓発を促すことを目的としている。

税金クイズは、その都度目黒税務署担当官に作成依頼

対象　当該イベントへの一般来場者、主として子供

８）広報誌「椎の木」並びにホームページによる税情報の発信

目的　広報誌「椎の木」に「税務署だより」、「都税事務所だより」、「区役所だより」、「税の豆知識」、「税制改正」等のページを設け、また、ホームページ上に、「税のミニ情報」と題したコーナーを設け、法人税、消費税、相続税、資産税等国税を中心に解説記事を掲載し、毎週更新する。

さらに、各種研修会、講演会、各種エッセイ、地域イベントの開催要領等を掲載し、適宜必要な情報を提供する。

対象　会員、一般

### （３）税制及び税務に対する調査研究と要望に関する事業

１）税制改正要望全国大会

目的　公益財団法人全国法人会総連合においては、毎年、中小企業の租税負担の軽減と合理・簡素化及び適正公平な税制・税務に関する提言を行うため、会員から税制に関する意見要望を取りまとめて、税制改正要望全国大会を行い、関係機関等に対し要望活動を行っている。目黒法人会においても会員から税制に関する意見要望を取りまとめ、一般社団法人東京法人会連合会、公益財団法人全国法人会総連合に上申する。

対象　役員・税制税務委員

2）東京税理士会目黒支部との連絡協議

目的　目黒税務署管内における正しい税務知識の普及、納税意識の高揚並びにe-Ｔａｘ、ｅＬＴＡＸの利用率向上等について定期的に連絡協議会を開催し、問題解決と推進についての意見交換を行ない税務行政の円滑な執行に寄与することを目的とする。

対象　出席者は当会役員並びに東京税理士会目黒支部役員　年１～２回開催

3）目黒税務連絡協議会との連絡協議

目的　目黒税務署管内における正しい税務知識の普及、納税意識の高揚並びにe-Ｔａｘ、ｅＬＴＡＸの利用率向上等及び地域企業と地域社会の健全な発展のため、目黒税務連絡協議会（公益社団法人目黒法人会、一般財団法人めぐろ青色申告会、目黒区納税貯蓄組合連合会、目黒間税会、目黒酒販協議会、東京税理士会目黒支部）と目黒税務署長並びに目黒税務署幹部職員とが定期的に協議会を開催し、税務行政に関する問題解決と推進についての意見交換を行ない税務行政の円滑な執行に寄与することを目的とする。

対象　各会会長、事務局責任者等、目黒税務署長・目黒税務署幹部、年６回開催

4）税制改正要望書の関係機関への提出

目的　公益財団法人全国法人会総連合では、毎年税制改正要望全国大会を開催し、決議された要望事項を有効なものとするため全国レベル、県連レベル、各単位会レベルで関係機関等に対し要望活動を行っている。目黒法人会においても目黒区をはじめ諸機関に対し要望活動を行う。

対象　目黒区選出国会議員、目黒区長、区議会議長ほか、毎年１０月

5）全国青年の集い

目的　全国の青年経営者が集い、税制、財政及び地域社会の健全な発展等、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行う。今後の活動をより充実したものにする目的で開催　目黒法人会青年部会からも代表数名が参加する。

対象　青年部会代表、毎年１０月もしくは１１月に開催

6）全国女性フォーラム

目的　全国の女性経営者が集い、税制、財政及び地域社会の健全な発展等、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行う。今後の活動をより充実したものにする目的で開催され、目黒法人会女性部会からも代表数名が参加する。

対象　女性部会代表、毎年４月開催（令和２年度は１１月開催）

## 2．公益目的事業２　地域企業の健全な発展に資する事業

1）記帳教室

目的　新たに設立された法人で経理的基礎知識の不足している法人に対し、複式簿記の原則による帳簿のつけ方、伝票の作成の仕方、税務上の疑問等について指導し、継続して健全な企業活動が行えることを目的に開催する。

講師は、東京税理士会目黒支部税理士に依頼

対象　目黒税務署管内に新たに設立された全法人を対象、３ヶ月に１回開催

２）経営支援セミナー

目的　目黒税務署管内の全法人を対象に、税務、経営戦略、マーケティング、人材採用、組織、財務会計、事業承継、企業成功等をテーマに、地域企業の健全な発展を目的に開催する。

講師は、目黒税務署担当官、税理士、社会保険労務士、経営コンサルタント、弁護士等、選定したテーマについての専門家に依頼

対象　目黒税務署管内の全法人を対象、年２０回開催

３）実務セミナー

目的　目黒税務署管内の全法人を対象に、融資対策、新入社員研修、社会保険・労災関係、ライフプラン、産業精神保健、ワークライフバランス、ハラスメント防止対策、ＢＣＰセミナー、パソコン安心活用策、ホームページ戦略等をテーマに、地域企業の健全な発展を目的に開催する。講師は目黒税務署担当官、税理士、社会保険労務士、経営コンサルタント、弁護士等、選定したテーマについての専門家に依頼

対象　目黒税務署管内の全法人を対象、年２０回開催

４）実務に役立つ経理・税務講座

目的　経理担当者、新たに経理担当になった者を対象に、豊富な具体例による様々な仕分処理を学習し、誤りのない経理処理により企業会計を健全なものとすることに加え関連する税務知識の習得を目的に開催する。

講師は、東京税理士会目黒支部税理士に依頼

対象　会員、一般、年１度１６回連続シリーズの講座として開催

５）管外経営研修会（一泊研修会）

目的　管外の研修施設を活用し、税務研修ならびに経営セミナーを開催する。終了後は懇談の場を設け、企業経営者相互の情報交換ならびに異業種交流を図る。

講師は、税理士、経営コンサルタントほか専門家に依頼

対象　会員、一般、年１回開催

６）青年経営者のための実務セミナー

目的　青年経営者を対象に、地域企業の健全な発展を目的として、税務、会計、経営等、必要なテーマを選定し開催する。

講師は、目黒税務署担当官、税理士、社会保険労務士、経営コンサルタント、弁護士等、選定したテーマについての専門家に依頼

対象　青年部会員、目黒税務署管内の全法人青年経営者、年２回開催

７）女性経営者のための実務セミナー

目的　女性経営者を対象に、地域企業の健全な発展を目的として、税務、会計、経営等、必要なテーマを選定し実施する。

講師は、目黒税務署担当官、税理士、社会保険労務士、経営コンサルタント、弁護士等、選定したテーマについての専門家に依頼

対象　女性部会員、目黒税務署管内の全法人女性経営者、年２回開催

8）経営支援相談会

目的　目黒税務署管内の全法人を対象に、税務、経営改善、法律、人事労務・社会保険、記帳、事業承継・再生、融資、ＩＴ等に関する相談会を、地域企業の健全な発展を目的に開催する。

相談員は、税理士、社会保険労務士、経営コンサルタント、弁護士、銀行担当者は選定した相談内容についての専門家に依頼

対象　目黒税務署管内の全法人を対象、年１２回開催

## ３．公益目的事業３　地域社会への貢献を目的とする事業

1）めぐろ童謡コンサート

目的　めぐろ童謡コンサートは、目黒区在住で「十五夜お月さん」「七つの子」など、数多くの童謡の作曲家　本居長世の生誕百年を記念して、目黒不動尊境内に記念碑の建立を機に、目黒を「童謡のふるさと」と呼べる、心豊かで優しさあふれる街にしたいという思いにより、童謡の里めぐろ保存会により運営されている。めぐろパーシモン大ホールを会場として、目黒区民はもとより、目黒区民以外の多くの人々を対象に、心のふるさと童謡を一緒に歌いながら、心豊かなひとときを過ごしてもらうとともに、税情報をはじめ様々な地域情報の提供の場として、童謡コンサートを毎年秋季に開催する。目黒法人会はこの活動の主体として参加する。

出演者は幼稚園、小学校、中学校、大人の童謡合唱団及び童謡歌手等

対象　一般、年１回秋季に開催

2）目黒川および周辺一帯清掃活動

目的　企業活動及び日常生活の場としている目黒を、清潔で安全・安心な魅力ある街づくり、環境問題への啓発を促すため、目黒法人会、東京目黒ロータリークラブ及び目黒区の共催により実施する。

参加団体は、目黒警察署、目黒消防署及び関係団体、東京商工会議所目黒支部、東京共済病院、ボーイスカウト、各町会、目黒区商店街連合会等で、参加者は概ね１，２００名。目黒法人会は、税情報をはじめ様々な地域情報の提供を目的に当該活動に共催者として参加しており、目黒川及び周辺一帯清掃活動において中心的な役割を果たしている。

対象　会員・その家族並びに従業員、関係諸団体、一般、年１回春に開催

3）中目黒阿波踊り

目的　目黒区在住の次世代及び目黒在住の外国の方（大使館員他）に、日本の伝統文化である夏祭りに興味・理解、親しみ、継承してもらうために、また、地元商店街の振興促進のために実施する。

対象　会員・その家族ならびに従業員、一般、年１回夏季に開催

4）地球温暖化対策$CO_2$削減活動及び「地球温暖化対策報告書制度」の積極的推進

目的　限りある地球資源と、かけがえのない地球環境を守っていくため地域企業と行政が手を携え、明日に向かって共に行動していくために、「東京都地球温暖化対策報告書制度」の積極的な推進、「地球温暖化対策$CO_2$削減がなぜ必要か」等のテーマでの講演会、Let's try、$CO_2$削減チャレンジキャンペーンを、$CO_2$削減チャレンジシート使用により、毎日の事業活動、家庭生活の中で、ちょっとした工夫により環境にやさしいエコライフ、省エネ活動をめざす目的で実施する。

対象　会員・その家族ならびに従業員、一般

5）支部教養・健康セミナー

目的　支部活動の一環として、当該地域企業の経営者、従業員ならびに地域住民の教養・健康向上のために、身近なテーマを選定しセミナーを実施する。一般教養、普通及び上級救命技術者資格、成人病予防や健康管理への適切な対処法などを学ぶ。

講師は、目黒区保健所長、目黒区内専門医師、目黒消防署員、目黒・碑文谷両警察署員、区役所職員等、選定したテーマについての専門家に依頼

対象　会員・その家族ならびに従業員、一般

6）地域イベントへの参加

目的　目黒税務署管内の商店街や自治会等では、地域振興と居住者の交流を目的に年間を通じ様々な催事やイベントが行われる。このイベントに当該地区の支部が単独もしくは複数で参加し、目黒法人会の税金クイズコーナー等を設け、イベントの充実に寄与する。クイズコーナー等については無料とする。お金（参加費等）を支払わなければイベントに参加できないことのないよう配慮する。参加することによる楽しさの機会を提供することを目的とする。(税金クイズについては１．（２）－２)、(２）－３）)の項に記載)

対象　当該イベントへの一般来場者、主として子供

7）その他本会の目的を達成するために必要な事業

目的　当会のホームページや広報ネットワークを活かして、地域社会貢献に取り組んでいる公官庁および各種団体などの活動を取り上げ、広く紹介するとともに協力を行う。

対象　（１）社会福祉法人目黒区社会福祉協議会
（２）エコライフめぐろ推進協会
（３）東京目黒ロータリークラブ
（４）東京商工会議所目黒支部
（５）社会福祉法人清徳会
（６）目黒区立特別養護老人ホーム東山
（７）一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会
（８）公益財団法人目黒区国際交流協会
（９）公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
（10）目黒区障害者就労支援センター

(11) 公益社団法人目黒区シルバー人材センター
(12) 公益財団法人目黒区勤労者サービスセンター
(13) 目黒ユネスコ協会
(14) 一般社団法人目黒区産業連合会
(15) 目黒区商店街連合会
(16) 目黒交通安全協会
(17) 目黒防犯協会
(18) 目黒警察懇話会
(19) 碑文谷交通安全協会
(20) 碑文谷防犯協会
(21) 碑文谷警察懇話会
(22) 目黒防火防災協会
(23) 目黒危険物安全協会
(24) 目黒防火管理研究会
(25) 目黒防火女性の会
(26) 目黒消防懇話会
(27) 目黒消防団
(28) 目黒少年消防団
(29) 一般財団法人全国社会保険協会連合会

## 4．他の事業1　会員の交流に資するための事業

1）新年賀詞交歓会

目的　新年を迎えるにあたり目黒税務連絡協議会主催の新年賀詞交歓会を開催し、地域の経営者が集い、情報交換、異業種交流、名刺交換ならびに旧交をあたためることを目的とする。

対象　会員、目黒税務連絡協議会会員、一般

2）理事・監事、各委員会委員、各支部役員、各部会役員懇談会

目的　目黒法人会の運営に携わっている理事･監事、委員会委員、支部役員、部会役員が、当年度の活動方針、重点施策等につき協議を行い、目標実現に向け意思統一を行うとともに、相互交流を図ることを目的に開催する。

対象　理事・監事、委員会委員、支部役員、部会役員

3）厚生共益事業委員会施設見学会

目的　厚生共益事業委員会では､バスなどを利用し経営に役立つ諸施設等の見学会を行う。車中は税務研修を行い、税に関する知識を深めるとともに会員相互の交流を深めることを目的に実施する。

対象　会員、一般、年1回

4）部会企業交流会

目的　源泉部会、青年部会、女性部会では、それぞれ新春等に税務研修や経営研修などを行い、終了後に部会員相互の一層の親交を深めることを目的に交流会を実施する。

対象　各部会会員

5）部会施設見学会

目的　源泉部会、青年部会、女性部会では、バスなどを利用し経営に役立つ諸施設等の見学会を行う。車中は税務研修を行い、税に関する知識を深めるとともに部会員相互の交流を深めることを目的に実施する。

対象　各部会会員

6）支部企業交流会

目的　各支部では、それぞれ夏季や新春等に税務研修や経営研修などを行い、終了後に支部に所属する会員相互の一層の親交を深めることを目的に交流会実施する。

対象　各支部会員

7）支部施設見学会

目的　各支部では、バスなどを利用し経営に役立つ諸施設等の見学会を行う。車中では税務研修を行い、税に関する知識を深めるとともに会員相互の交流を深めることを目的に実施する。

対象　各支部会員

8）ゴルフ会

目的　ゴルフを通じて経営者としての情報交換、異業種交流を行うとともに会員相互の交流を図る。

対象　会員、年１回開催

9）ボウリング大会

目的　会員、その家族ならびに従業員も参加できるボウリング大会を実施。地域の経営者の経営する企業ぐるみでの交流の輪を広げることを目的として実施する。

会場は品川プリンスホテル・ボウリングセンターを使用

対象　会員、その家族ならびに従業員、年１回開催

10）青年部会ゴルフ大会

目的　ゴルフを通じて青年経営者としての情報交換、異業種交流を行うとともに部会員相互の交流を図る。

対象　会員、年１回開催

11）支部ゴルフ大会

目的　ゴルフを通じて経営者としての情報交換、異業種交流等を行うとともに支部会員相互の交流を図る。

対象　各支部会員、年１～２回開催

12）海外もしくは国内研修旅行

目的　経営、経済活動等を学ぶため、世界・日本各地を訪れ、その実態を実感するととも

に問題点等を学習し、さらに体験の共有を通じて会員相互の一層の交流を深めることを目的とする。

対象　会員、年１回

## ５．収益事業１　会員の福利厚生等に関する事業

１）簡易保険団体保険料払込制度の普及推進

目的　従前は郵政省が所管し、現在は株式会社かんぽ生命保険に移管された簡易保険の集金事務代行。集金取扱いによる割引制度が適用されることで、地域企業の福利厚生の充実に寄与することを目的とする。

取扱いは株式会社かんぽ生命保険

対象　会員並びにその役員（ただし、平成１９年９月３０日までに契約された簡易保険）

２）貸倒保障制度（取引信用保険）の普及推進

目的　取引信用保険とは、取引契約締結時に選定した取引先に債務不履行が生じた場合に、予め約定した保険条件に従って、保険金が支払われる制度。法人会では団体として中小企業向け貸倒保険制度を採用し、地域企業の経営の安定化のため普及推進に努めている。

引受保険会社は三井住友海上火災保険株式会社

対象　会員

# 収支予算書

令和2年4月 1日から令和3年3月31日まで

（単位：円）

| 科　　目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ．一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産運用益 | 500 | 500 | 0 |
| ② 特定資産運用益 | 290,300 | 290,300 | 0 |
| ③ 受取会費 | 21,600,000 | 23,600,000 | △ 2,000,000 |
| ④ 事業収益 | 1,320,000 | 1,580,000 | △ 260,000 |
| ⑤ 受取補助金等 | 15,876,900 | 14,496,600 | 1,380,300 |
| ⑥ 受取負担金 | 1,820,000 | 1,770,000 | 50,000 |
| ⑦ 受取寄付金 | 250,000 | 266,000 | △ 16,000 |
| ⑧ 雑収益 | 1,770,000 | 1,715,000 | 55,000 |
| 経常収益計 | 42,927,700 | 43,718,400 | △ 790,700 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業 | 18,699,700 | 18,969,000 | △ 269,300 |
| ② 地域企業の発展に資する事業 | 6,194,000 | 6,319,200 | △ 125,200 |
| ③ 地域社会への貢献を目的とする事業 | 5,777,400 | 6,331,300 | △ 553,900 |
| ④ 会員の福利厚生等に資する事業 | 1,293,760 | 1,703,500 | △ 409,740 |
| ⑤ 会員の交流に資するための事業 | 7,452,951 | 6,456,700 | 996,251 |
| ⑥ 管理費 | 5,556,300 | 5,902,500 | △ 346,200 |
| 経常費用計 | 44,974,111 | 45,682,200 | △ 708,089 |
| 当期経常増減額 | △ 2,046,411 | △ 1,963,800 | △ 82,611 |
| 2. 経常外損益の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | △ 2,046,411 | △ 1,963,800 | △ 82,611 |
| 法人税等引当支出 | 70,000 | 70,000 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 2,116,411 | △ 2,033,800 | △ 82,611 |
| 一般正味財産期首残高 | 253,050,333 | 256,181,219 | △ 3,130,886 |
| 一般正味財産期末残高 | 250,933,922 | 254,147,419 | △ 3,213,497 |
| Ⅱ．指定正味財産増減の部 | | | |
| 受取補助金等 | | | |
| 受取全法連助成金 | 13,806,900 | 12,536,600 | 1,270,300 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 13,806,900 | △ 12,536,600 | △ 1,270,300 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| Ⅲ．正味財産期末残高 | 250,933,922 | 254,147,419 | △ 3,213,497 |

公益社団法人目黒法人会は、目黒税務署管内の企業及び目黒法人会の事業に賛助する方々が会員となり、“税を”を中心に地域企業の健全な発展、地域社会への貢献を目的として活動しています。

公益社団法人目黒法人会は「消費税期限内完納」を推進しています。

めざします
企業の繁栄と社会への貢献
みんなで築こう豊かな社会　輝く目黒

法人会の基本的指針

法人会はよき企業、よき経営者、よき市民の団体として
会員の積極的な自己啓発を支援し
納税意識の向上と
企業経営および社会の
健全な発展に貢献します